令 和　7　年 度

県営土地改良事業変更計画書

区画整理事業

都道府県名	福　岡　県
地 区 名	稲　　童
所 在 地	行　橋　市
事業主体	福　岡　県

目　次

第１章　目的 …… 1

第２章　地域及び地積 …… 1
第１節　地域 …… 1
第２節　地積 …… 2

第３章　現況 …… 3
第１節　気象及び海象 …… 3
1　一般気象 …… 3
2　特殊気象 …… 3
3　海象 …… 4
第２節　土地状況 …… 4
1　地形、土壌及び浸食の程度 …… 4
2　土地分類 …… 6
3　土地利用の状況 …… 7
4　土地所有の状況 …… 8
第３節　水利状況 …… 9
1　用水状況 …… 9
2　排水状況 …… 13
3　河川状況 …… 16
第４節　道路現況 …… 17
1　道路概況 …… 17
2　主要道路一覧表 …… 17
第５節　地域農業の概況 …… 18
1　産業別就業人口 …… 18
2　経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数 …… 19
3　動力農機具及び主要家畜頭数 …… 19
4　主要作物作付状況 …… 20
5　農業の動向 …… 21
第６節　地域環境の概況 …… 22

第４章　一般計画 …… 23
第１節　事業計画の要旨 …… 23
1　要旨 …… 23
2　事業別面積 …… 23
第２節　営農計画及び土地利用計画 …… 24
1　営農計画の概要 …… 24
2　土地利用区分 …… 25
3　作付方式 …… 26
4　生産計画 …… 27
5　労働改善計画 …… 28
6　級地別土地利用区分 …… 29
7　土地配分計画 …… 30
第３節　用水計画 …… 30
1　計画基準年 …… 30
2　計画かんがい方式 …… 30
3　計画用水系統 …… 30
4　計画用水量 …… 31
5　水源計画 …… 33

第4節　排　水　計　画 …… 38
1　計画基準雨量 …… 38
2　計画排水方式 …… 38
3　計画排水系統 …… 38
4　計　画　排　水　量 …… 39
5　排　水　対　策 …… 40
6　湛　水　検　討 …… 42
第5節　道　路　計　画 …… 43
1　道路及び索道 …… 43
2　路　線　配　置　図 …… 44
第6節　農用地造成計画 …… 45
1　農用地造成計画 …… 45
2　土　壌　改　良 …… 45
第7節　洪水調節計画 …… 46
1　計画基準雨量 …… 46
2　計画洪水量及び調節量 …… 46
3　貯　水　池 …… 46
4　洪水調節検討 …… 47
5　管　理　計　画 …… 47
第8節　干　拓　計　画 …… 48
第9節　農用地整備計画 …… 49
1　区　画　整　理 …… 49
2　暗　渠　排　水 …… 51
3　客　土 …… 52
4　農　地　保　全 …… 53
第10節　老朽ため池改修計画 …… 54
1　洪水吐改修計画 …… 54
2　堤体補強計画 …… 54
3　取水施設改修計画 …… 55
第5章　主要工事計画 …… 55
第1節　用　水　施　設 …… 55
1　貯　水　池 …… 55
2　頭　首　工 …… 56
3　揚　水　機 …… 57
4　用　水　路 …… 58
5　その他かんがい施設 …… 59
第2節　排　水　施　設 …… 60
1　排　水　水　門 …… 60
2　排　水　機 …… 60
3　排　水　路 …… 61
4　その他排水施設 …… 61
第3節　道路及び索道 …… 62
1　道　路 …… 62
2　索　道 …… 64
第4節　農用地造成 …… 65
1　農用地造成 …… 65
2　土　壌　改　良 …… 68
第5節　洪水調節施設 …… 69
1　貯　水　池 …… 69
2　頭首工及び導水路 …… 69
第6節　干　拓　施　設 …… 70
1　堤　防 …… 70
2　潮　止　め …… 70
3　附　属　施　設 …… 71
4　埋　立 …… 71

第7節　農用地整備施設 …… 71
1　区画整理 …… 71
2　暗渠排水 …… 73
3　客土 …… 74
4　除礫 …… 74
5　農地保全 …… 75
第8節　老朽ため池改修施設 …… 76
1　貯水池 …… 76
2　堤体補強施設 …… 76

第6章　附帯工事計画 …… 77

第7章　工事の着手及び完了の予定時期 …… 77

第8章　環境との調和への配慮 …… 77

第9章　換地計画の概要 …… 78
第1節　換地計画を作成する上での基本的な考え方 …… 78
第2節　換地区の設定 …… 78
1　換地区の名称、所在、面積 …… 78
2　換地区を設定する理由 …… 78
第3節　換地計画樹立の基本方針 …… 78
1　従前の土地の地積の基準 …… 78
2　用途別予定地積 …… 79
3　農用地集団化の方針 …… 80
4　非農用地換地の方法 …… 80
第4節　土地の評価及び清算の方法 …… 81
1　評価の方法 …… 81
2　清算の方法 …… 81
第5節　換地計画樹立の年度計画 …… 81
第6節　換地処分の時期に関する特則 …… 81

第10章　事業費の総額及び内訳 …… 82

第11章　効用 …… 82

第12章　関連する事業 …… 83

第13章　現況・計画図面 …… 83
1　現況平面図 …… 83
2　計画平面図及び土地利用計画図 …… 83
3　主要構造図 …… 83

第１章　目　的

農業生産の基盤である耕地の区画形質の改善、用排水路、農道、暗渠排水の整備及び農用地の集団化を一体的に実施し、将来の農業生産を担う効率的かつ安定的な担い手を育成する。

農業所得の安定と優良農地を将来にわたり適切に維持、保全し活力のある農村の建設と安定した農業生産の基礎の確立を目的とする。

第２章　地 域 及 び 地 積

第１節　地　　域

（第１表）

事　　業　　名	地　　域
区画整理事業	行橋市大字稲童

第２節　地　　積

（令和 4 年　3月現在）（第２表）

事　業　名	現況地目 / 市町村名	田 (ha)	輪換耕地 (ha)	畑 (ha)	宅地 (ha)	山林原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備　　考
区画整理事業	行 橋 市	35.9	－	0.6	－	－	3.5	40.0	
	計	35.9	－	0.6	－	－	3.5	40.0	
	計								
	計								
	計								
合 計		35.9	－	0.6	－	－	3.5	40.0	

第３章　現　況

第１節　気 象 及 び 海 象

1. 一 般 気 象

（第３表－１）

観測所名	下関観測所		かんがい期	非かんがい期	計 又は平均	備　　考
観測期間	昭和21年～令和2年		6月～10月	11月～5月		
平均気温	(°C)		23.5　°C	11.0　°C	(年平) 16.2　°C	
降水量	平均	(mm)	993.7　mm	723.8　mm	1,717.5　mm	
	基準年	(mm)	637.0　mm	552.5　mm	1,189.5　mm	用水計画基準年　…　昭和59年
降水日数	平均	(日)	32	38	70	
	基準年	(日)	27	29	56	用水計画基準年　…　昭和59年
根雪期間			－月　－日　～　－月　－日		－　日間	
無霜期間			－月　－日　～　－月　－日		－　日間	
最多風向			東	最大風速 (風向)	30.7　m/s (東南東)	最多風向発生時期　7 月 最大風速発生年月日 1970　年　8　月　15　日

2. 特 殊 気 象

（第３表－２）

観測所名 下関観測所	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備　考
観測期間 昭和21年～令和2年	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
最大日雨量 (mm)	265.7	S28.6.28	1/300	218.6	S29.9.25	1/55	205.1	S24.8.17	1/35	190.0	H21.7.24	1/19	184.0	H30.7.6	1/15	
最大時間雨量 (mm)	77.4	S28.6.28	1/70	71.0	H16.9.16	1/40	71.0	H24.7.14	1/40	65.5	H27.8.25	1/21	64.5	H15.7.19	1/19	
最大４時間雨量 (mm)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
最大連続雨量 (mm)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
最大連続干天日数 (日)	42.0	H28	1/90	40.0	S26	1/60	37.0	H10	1/35	36.0	S35	1/27	34.0	S39	1/18	かんがい期

3. 海　　象　　（第３表－３）

観測所名		既往最高潮位 (m)	さく望平均満潮位 (m)	上下弦平均満潮位 (m)	平均潮位 (m)	上下弦平均干潮位 (m)	さく望平均干潮位 (m)	既往最低潮位 (m)	備考
観測期間									
実測値		(　)						(　)	

第２節　土地状況

1.　地形、土壌及び浸食の程度　　（第４表－１－１）

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高(m)		備考
	傾斜区分	1/1000 以下	1/1000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 以下	3° ～ 8°	8° ～ 15°			15° ～ 20°	20° 以上	計	最高	最低	
										8° ～ 10°	10° ～ 15°	8° ～ 15°						
区画整理事業	面積 (ha)	0.7	19.3	11.8	0.7	－	32.5	0.7	－	－	－	－	－	－	0.7	16.9	7.1	
	比率 (%)	2	60	36	2	－	100	100	－	－	－	－	－	－	100			
	面積 (ha)																	
	比率 (%)																	
合計	面積 (ha)	0.7	19.3	11.8	0.7	－	32.5	0.7	－	－	－	－	－	－	0.7	16.9	7.1	
	比率 (%)	2	60	36	2	－	100	100	－	－	－	－	－	－	100			

（第４表－１－２）

項目 ＼ 土壌統(区)名	土壌統（区）区分一覧表										面積(ha)			備考
	土壌断面								堆積様式	母材	事業名			
	色	腐植	礫層	酸化沈澱物	土性			泥炭層・黒泥層及びグライ層			区画整理事業		計	
					表土	下層土								
					一層	二層	三層							
グライ土壌群粘土型(E-42)	暗褐色 7.5YR3/3	含む	あり	－	SiC	LiC	LiC	あり	－	－	10.3		10.3	調査地点 No.2
黄褐色土壌群強粘土型(I-81)	黒褐色 10YR3/2	含む	なし	－	SiC	SiC	HC	なし	－	－	11.4		11.4	調査地点 No.6
黄褐色土壌群壌土マンガン型(I-83)	にぶい黄褐色 10YR4/3	含む	あり	－	SiC	SiC	SiC	あり	－	－	11.5		11.5	調査地点 No.8
計											33.2		33.2	

（第４表－１－３）

事業名	区　分	土壌の流亡率				年平均流亡速度				ガリ浸食の程度		備考
		0	0 ～ 25%	25% ～ 50%	50%以上	0	3mm未満	3～5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
	面　積　(ha)											
	比　率　(%)											

2. 土地分類

（第４表－２－１）

級地別 / 市町村名	農用地造成											計	備考
	一級地	二級地				三級地				四級地			
		※	3°～8°	8°～12°	12°～15°	※	15°～20°	20°～25°	25°～30°	※	30°以上		
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
													※は傾斜以外の要因によるもの
計													

（第４表－２－２）

級位別 / 市町村名	干拓					備考
	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
計						

3. 土地利用の状況　　（令和 4 年　3　月現在）　　（第４表－３）

事業名	土地利用別 / 市町村名	耕地							山林		採草放牧地	原野	その他	計	備考
		水田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
区画整理事業	行橋市	35.9	－	0.6	－	－	－	－	－	－	－	－	3.5	40.0	
	計	35.9	－	0.6	－	－	－	－	－	－	－	－	3.5	40.0	
	計														
	計														
	計														
合計		35.9	－	0.6	－	－	－	－	－	－	－	－	3.5	40.0	

4. 土地所有の状況

（令和 4 年　3　月現在）　（第４表－４）

事業名	区分＼所有別	個人有				計	備　考
区画整理事業	面積(ha)	36.5				36.5	
	受益者数(人)	153				153	
	筆数(筆)	556				556	
	権利関係	所有権					
	備考(関係戸数)						
	面積(ha)						
	受益者数(人)						
	筆数(筆)						
	権利関係						
	備考(関係戸数)						
合計	面積(ha)	36.5				36.5	
	受益者数(人)	153				153	
	筆数(筆)	556				556	
	権利関係	所有権					
	備考(関係戸数)						

第3節　水利状況

１．用水状況

(1) 用水系統

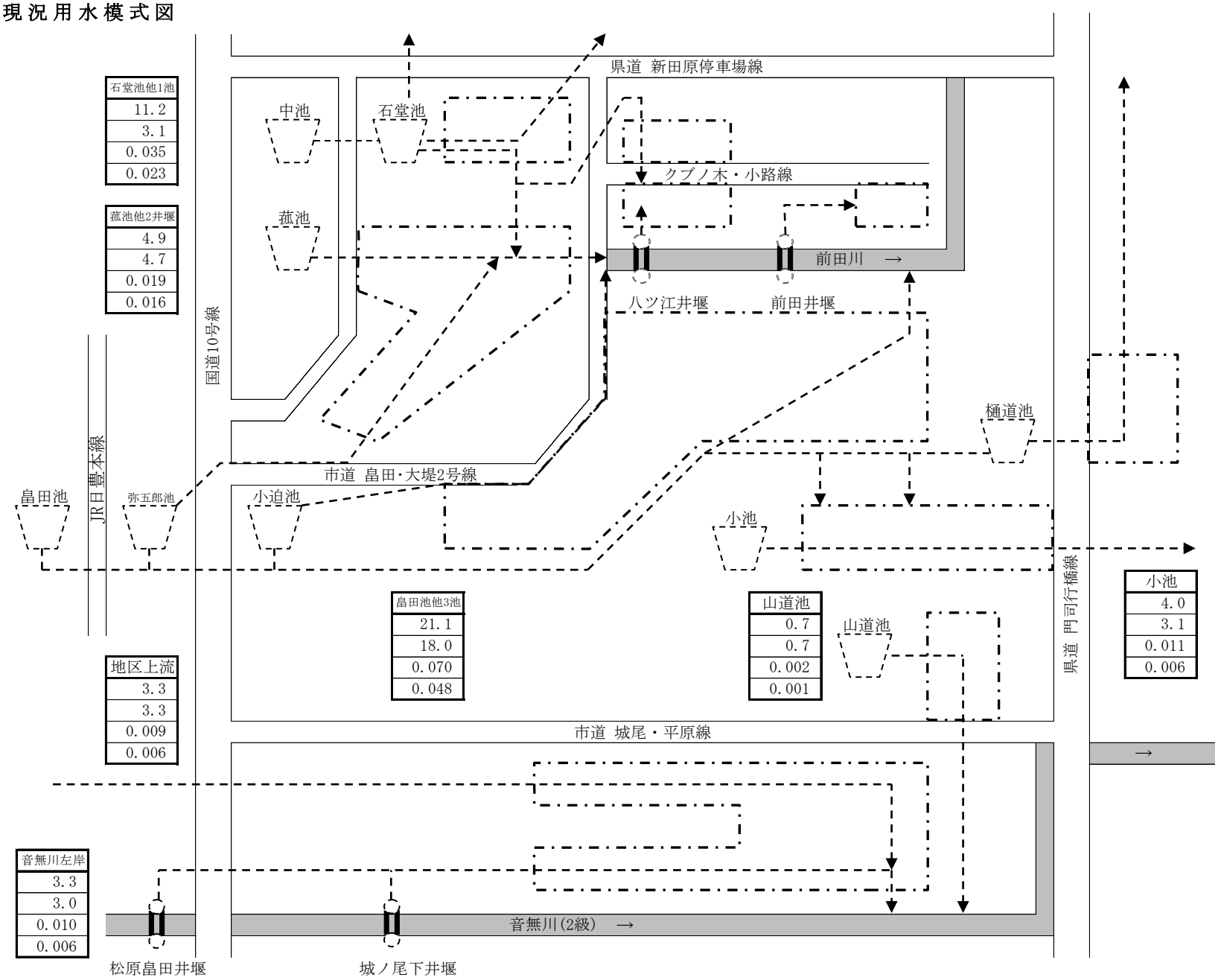
別紙現況用水系統模式図参照（P9-1）

(2) 用水施設

(ｱ) 取水方法一覧表　（第５表－１）

事業名	項目 / 施設名	かんがい面積 500ha 以上 箇所	ha	500ha ～ 100ha 箇所	ha	100ha 未満 箇所	ha	計 箇所	ha	水利権 箇所	m^3/s	慣行水利権 箇所	m^3/s	延べ取水量 m^3/s	備考
区画整理事業	貯水池	－	－	－	－	9	40.7	9	40.7	－	－	9	0.132	0.132	
	井堰	－	－	－	－	4	4.5	4	4.5	－	－	4	0.015	0.015	
	自然取入口	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	揚水機	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	その他	－	－	－	－	1	3.3	1	3.3	－	－	1	0.009	0.009	
	計	－	－	－	－	14	48.5	14	48.5	－	－	14	0.156	0.156	
	貯水池														
	井堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
	計														
合計		－	－	－	－	14	48.5	14	48.5	－	－	14	0.156	0.156	

現況用水模式図



凡例	
	既設ため池
	既設頭首工
	既設開水路
	排水路
	地区界

路線名	
かんがい面積	(ha)
受益面積	(ha)
代掻期粗用水量	(m3/s)
普通期粗用水量	(m3/s)

(イ) 改修を要する施設一覧表　　（第５表－２）

事業名	項目／施設名	施設名又は箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模 (m)	新設年又は更新年月日	改修を必要とする理由	備考
区画整理事業	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路		35.9	土水路･U字溝等	9,308	不明	区画整理の為	
	その他							
	計		35.9		9,308			
	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計							
	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計							
合計			35.9		9,308			

(3) 用水に関する被害状況

(ｱ) 用水不足による被害状況　　（第５表－３－１）

事業名	項目 / 系統名	かんがい面積 (ha)	現況必要水量 (千m³)	不足水量 かんがい期最大不足水量 平均 (m³/s)	不足水量 かんがい期最大不足水量 基準年 (m³/s)	不足水量 かんがい期総不足水量 平均 (千m³)	不足水量 かんがい期総不足水量 基準年 (千m³)	平均減産量 (t) 作物名	平均減産量 (t) 減産量 (t)	備考
	計									
	計									
合計										

(ｲ) その他の被害状況　　（第５表－３－２）

事業名	時期別	かんがい面積 (ha)	水温 (℃) 最高	水温 (℃) 最低	水質	被害量 (t)	備考

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

（第５表－３－３）

事業名	池名	想定被害面積（ha）				想定被害額（百万円）						備考
		水田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	一般・公共施設	その他	計	
	計											
	計											
	計											
	計											
	計											
	計											
合計												

２．排水状況

(1) 排水系統

別紙現況排水系統模式図参照（P13-1）

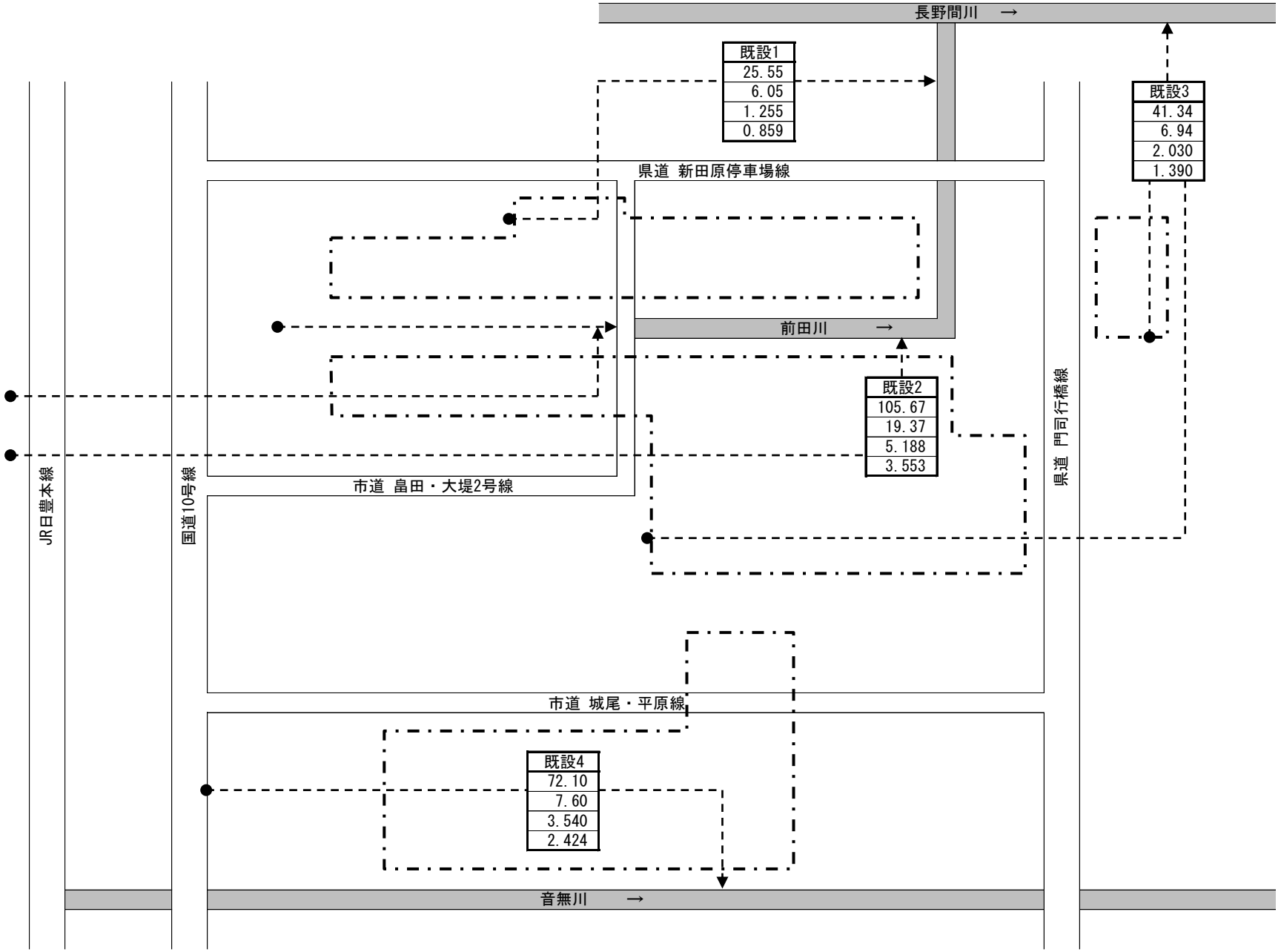
(2) 排水施設

(ｱ) 排水方法一覧表

（第５表－４）

事業名	施設名＼項目		排水面積 500ha 以上 箇所	排水面積 500ha 以上 ha	排水面積 500～100ha 箇所	排水面積 500～100ha ha	排水面積 100ha 未満 箇所	排水面積 100ha 未満 ha	計 箇所	計 ha	排水慣行 (m³/s)	現況排水能力 (m³/s)	備考
区画整理事業	自然	排水路	－	－	1	105.7	3	139.0	4	244.7	12.013	12.013	
		水門	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	機械	排水機	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
		水門及び排水機	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
		排水路及び排水機	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	計		－	－	1	105.7	3	139.0	4	244.7	12.013	12.013	
	自然	排水路											
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
合計			－	－	1	105.7	3	139.0	4	244.7	12.013	12.013	

現況排水模式図



凡　例	
●……→	既設排水路
―・―	地区界

路線名	
集水面積	(ha)
受益面積	(ha)
1/10排水量	(m^3/s)
1/2排水量	(m^3/s)

単位排水量(支線)	
1/10	0.04910 m3/s/ha
1/2	0.03362 m3/s/ha

（イ）改修を要する施設の一覧表　　（第５表－５）

事業名	施設名 ＼ 項目		施設名又は個所数	受益面積 (ha)	構造	規模 (m)	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
区画整理事業	自然	排水路	－	244.7	三面張	4,090	不明	区画整理の為	
		水門	－	－	－	－	－	－	
	機械	排水機	－	－	－	－	－	－	
		水門及び排水機	－	－	－	－	－	－	
		排水路及び排水機	－	－	－	－	－	－	
			－	244.7	－	4,090	－	－	
	自然	排水路							
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
	自然	排水路							
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
合計				244.7		4,090			

(3) 排水に関する被害状況　　（第５表－６）

事業名	項目／系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況				乾湿状況 (ha)						平均減産量		備考
					湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m³)	田		畑		その他		作物名	減産量 (t)	
									乾	湿	乾	湿	乾	湿			
			平均														
			基準年														
			平均														
			基準年														
計			平均														
			基準年														

３．河 川 状 況

(1) 河川の状況　　（第５表－７）

項目 / 河川名	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 (m^3/s)	既往最大洪水量 (m^3/s)	備考

(2) 洪水に関する被害状況　　（第５表－８）

項目 / 区分	農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備考
過去の最大被害額					
平均被害額					

第４節　　道　路　現　況

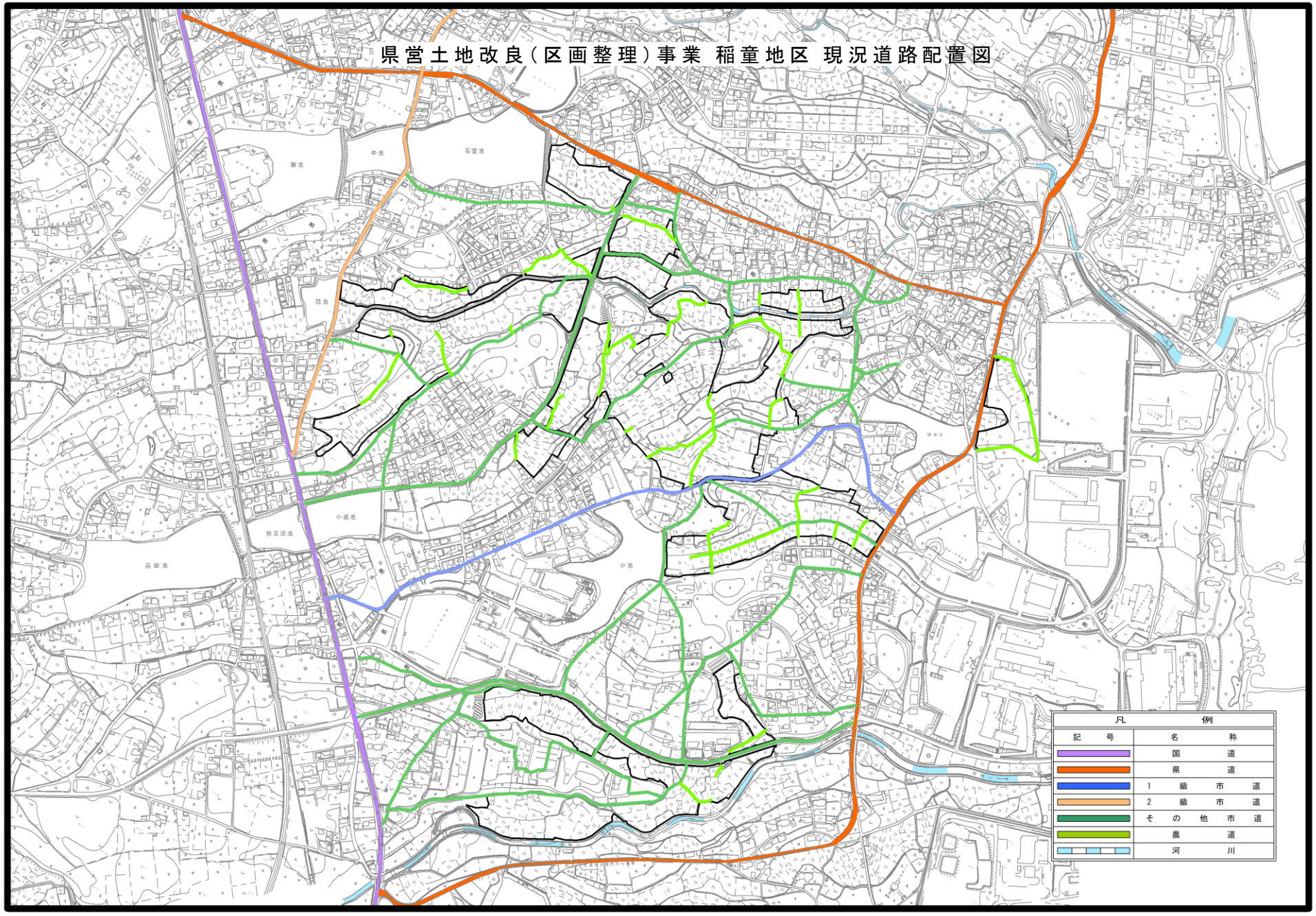
1. 道　路　概　況

別紙　現況道路配置図参照（P17-1）

2. 主要道路一覧表

（第６表）

No.	路線名	管理区分別	延長（m）	幅員（m）		構造	改修の要否	備考
				全幅	有効			
	農道	市	3,212	2.2	－	砕石	要	
1	国道　国道10号線	国	－	－	－	アスファルト	否	
2	県道　稲童新田原停車場線	県	－	－	－	アスファルト	否	
3	県道　門司行橋線	県	－	－	－	アスファルト	否	
4	1級市道　狩矢・大山線	市	1,441	5.9	－	アスファルト	否	
5	2級市道　石佛・一丁田原線	市	2,335	5.5	－	アスファルト	否	
6	その他市道　クブノ木・小路線	市	675	4.1	－	アスファルト	否	
7	その他市道　前田・鞘辻線	市	343	4.1	－	アスファルト	否	
8	その他市道　山中２号線	市	21	4.7	－	アスファルト	否	
9	その他市道　山中・畠田線	市	436	2.4	－	アスファルト・砕石	要	
10	その他市道　宮山線	市	151	2.2	－	アスファルト・砕石	否	
11	その他市道　畠田・大堤線	市	1,168	6.5	－	アスファルト	否	
12	その他市道　石堂・弥五郎線	市	967	3.8	－	アスファルト・砕石	要	
13	その他市道　大堤・弥五郎線	市	246	1.6	－	コンクリート・砕石	要	
14	その他市道　弥五郎２号線	市	252	4.3	－	アスファルト	否	
15	その他市道　畠ケ田・平原線	市	565	4.6	－	アスファルト	否	
16	その他市道　渡筑紫・城尾線	市	1,089	3.2	－	アスファルト・砕石	要	
17	その他市道　長迫・畠ケ田線	市	407	2.1	－	砕石	要	
18	その他市道　渡筑紫・切堤線	市	663	3.7	－	アスファルト	否	
19	その他市道　渡筑紫・山道線	市	362	3.7	－	アスファルト	否	
20	その他市道　島巡・石堂線	市	607	3.4	－	アスファルト	否	
21	その他市道　城尾・切堤線	市	339	4.2	－	アスファルト	否	
22	その他市道　道場寺・切堤線	市	324	3.2	－	アスファルト	否	
23	その他市道　切堤・城尾線	市	263	4.7	－	アスファルト	否	
24	その他市道　城尾団地１号線	市	426	4.3	－	コンクリート・砕石	否	
25	その他市道　城尾・平原線	市	1,108	10.7	－	アスファルト	否	
26	その他市道　畠田・大堤２号線	市	458	7.2	－	アスファルト	否	


県営土地改良（区画整理）事業 稲童地区 現況道路配置図
凡例
記号
名称
国道
県道
1級市道
2級市道
その他市道
農道
河川

第５節　　地域農業の概況

1. 産業別就業人口　　（第７表－１）

項目 / 市町村名	総数（人）	農業（人）	林業（人）	漁業（人）	鉱業（人）	建設業（人）	製造業（人）	電気ガス熱供給水道業（人）	運輸通信業（人）	卸売小売業飲食店（人）	金融保険業（人）	不動産業（人）	サービス業（人）	公務（人）	その他（人）	備考
行橋市	34,696	700	19	91	17	1,940	8,980	142	2,330	6,482	440	311	3,908	1,665	7,671	令和２年国勢調査
計	34,696	700	19	91	17	1,940	8,980	142	2,330	6,482	440	311	3,908	1,665	7,671	
比　率　(%)	100	2	0	0	0	6	26	0	7	19	1	1	11	5	22	

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数　　（第７表－２）

区分 / 市町村名	農家総戸数（経営体）	経営耕地広狭別農家数（経営体）											１戸当たり平均農用地面積(ha)						耕地の分散状況		専兼業別農家数（戸）			備考
		例外規定の適用を受けるもの	～0.5	0.5～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～20.0	20.0ha以上	自給的農家	田	畑	樹園地	小計	草地	計	1戸当たり団地数	団地当たり面積(ha)	専業	兼業 第一種	兼業 第二種	
行橋市	606	－	122	211	123	40	36	27	18	10	11	8	2.1	0.3	0.4	2.8	2.0	4.8	－	－	393	49	497	2020 農林業センサス 専兼業別農家数
計	606	－	122	211	123	40	36	27	18	10	11	8	2.1	0.3	0.4	2.8	2.0	4.8	－	－	393	49	497	2015 農林業センサス
比　率　(%)	100	－	20	35	20	7	6	4	3	2	2	1	44	6	8	58	42	100	－	－	42	5	53	

3. 動力農機具及び主要家畜頭数　　（第７表－３）

項目 / 市町村名	動力農機具								主要家畜								備考
	動力田植機		トラクター		コンバイン				乳用牛		肉用牛		採卵鶏				
	数量（台）	戸数（経営体）	数量（台）	戸数（経営体）	数量（台）	戸数（経営体）			数量（頭）	戸数（経営体）	数量（頭）	戸数（経営体）	数量（100羽）	戸数（経営体）			
行橋市	719	709	964	844	670	647			158	3	－	2	－	2			動力農機具 2015農林業センサス
計	719	709	964	844	670	647			158	3	－	2	－	2			主要家畜
100戸当たり数量(台、頭)	101		114		104				5,267		－		－				2020農林業センサス
利用戸数割合（%）	32.2		38.4		29.4				42.8		28.6		28.6				

4. 主要作物作付状況　　（第７表－４）

市町村名			行橋市						計	平均	作付率	備考
総耕地面積 (ha)			1,970						1,970	1,970		
総本地面積 (ha)			1,720						1,720	1,720		
区分 / 作物名			作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg/10a)	(%)	
田	表作	水稲	1,140	467					1,140	467	66.3	第68次農林水産統計年報
		大豆	79	90					79	90	4.6	
	裏作	二条大麦	202	309					202	309	11.7	
	小計		1,421						1,421		82.6	
畑	春夏作											
	秋冬作											
	小計											
樹園地												
	小計											
計			1,421						1,421			
市町村別延べ作付率 (%)			82.6						82.6			

5.農業の動向　　（第７表－５）

項目 / 区分	農家			土地			主要作物			大家畜			動力農機具			地域指定等	備考
		B	A（現在）		B	A（現在）	作物名	B	A（現在）	家畜名	B	A（現在）	農機具名	B	A（現在）		
変化の状況（C年を100とする指数）	総農家数	79	55	耕地	95	78	水稲	107	93	乳用牛	115	101	動力田植機	82	－	・農業振興地域 S48 ・野菜指定産地 S56 ・野菜集団産地 S61	A:2020年 B:2015年 C:2010年 （農林業センサス）
	専業農家数	99	－	田	96	79	大麦	106	115	肉用牛	－	－	トラクター	82	－		
	第一種兼業農家数	102	－	畑	78	59	大豆	45	41	採卵鶏	－	－	コンバイン	81	－		
	第二種兼業農家数	70	－	樹園地	81	62											
変化の理由	後継者の減少及び高齢化等に伴い、総合的に総農家数は減少傾向にある。 ※2020年農林業センサスデータなし			都市化の進展に伴う転用及び農家数の減少により、耕地は減少傾向にある。			生産組織や担い手農家等へ作業受委託をし、大型機械の導入が図られているほか、排水施設等の整備が進み、裏作作物の作付面積は増加傾向にある。			家畜数については2010年から大きな変化は見られない。又、販売農家はいるが、飼養頭羽数が公表されていないものが多い。			土地基盤整備の進展に伴い、生産組織や担い手農家等への作業受委託が進んでいることにより、動力農機具は減少傾向にある。 ※2020年農林業センサスデータなし				

第６節　地域環境の概況

1. 植物、動物等生態系の概要

本市は福岡県東北部に位置し、東は周防灘に面し、西に平尾台、南西部に御所ヶ谷・馬ヶ岳がある。市内には県営2級河川の今川、祓川をはじめとする多数の河川が流れるほか、ため池も多く点在し、市街地周辺の田園や郊外果樹園など、水と緑に恵ま自然豊かな街である。このため本市には多くの動植物が生息しており、代表的なものとして、鳥類のアオバズク、両生類のトノサマガエルや淡水魚のウグイ、昆虫類のゲンジホタルなどが挙げられるほか、植物では貴重なヒモズルやコナラが群生している。また、ミズトラノオ、マルバノサワトウガラシ、サガミトリゲモ、イトトリゲモも絶滅が危惧されている。

2. その他地域環境の概要

（史跡）　国指定　：　御所ヶ谷神籠石
県指定　：　ビワノクマ古墳、仏山塾跡
市指定　：　稲童1号掩体壕

第４章　一　般　計　画

第１節　　事　業　計　画　の　要　旨

1. 要　　旨

農地の区画形質の改善。用排兼用水路の用排分離。農道計画等の整備を行い、農地の荒廃、耕作放棄地の防止と共に高収益農業や施設野菜を集団化、団地化し効率的で安定した農業経営を目指し、国土保全と地域の活性化を図る。

2. 事業別面積　　（第８表）

事業名 / 土地利用区分 / 事業目的	区画整理事業																			計 (ha)	備考
	水田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)		
区画整理	－	32.5	0.7	－	－	6.8	40.0													40.0	
計	－	32.5	0.7	－	－	6.8	40.0													40.0	

第２節　営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本地区は、現在、1生産組織と70戸の農家が個別的に水稲を中心とした農業経営を行っている。

近年、高齢化が進行し、農家人口の減少等により委託希望農家が増加傾向にあるが、ほ場が狭小で不整形なため大型農業機械の導入が進まず、農道、用排水路が未整備であるため、担い手の参入・農作業効率の向上に支障をきたしている。

このような状況の中で農業の競争力を強化するためには、基盤整備によって、担い手への農地集積・集約化や農業の高付加価値等を図ることが重要である。

このため今後は、不整形・狭小な農地区画の整形・拡大、用排水施設、暗渠排水、農道等を総合的に整備し、水田の汎用化を契機として野菜等の生産振興及び耕地利用率の向上を図るとともに、今後の地域の中心となる経営体への農地利用集積を促進することで、農業経営の安定と永続的な農業の展開を目指す。

2. 土 地 利 用 区 分

（第９表－１）

事業名	土地利用区分 / 区分	田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶　園 (ha)	その他 (ha)	小　計 (ha)	山　林 原　野 (ha)	非農用地 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備　考
区画整理事業	現　況	35.9	－	0.6	－	－	－	－	36.5	－	0.0	3.5	40.0	
	計　画	32.5	－	0.7	－	－	－	－	33.2	－	0.0	6.8	40.0	
	現　況													
	計　画													
	現　況													
	計　画													
計	現　況	35.9	－	0.6	－	－	－	－	36.5	－	0.0	3.5	40.0	
	計　画	32.5	－	0.7	－	－	－	－	33.2	－	0.0	6.8	40.0	

３．作　付　方　式　　（第９表－２）

事業名	項目	経営類型	土地利用区分		1年目												2年目												3年目												備考
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
区画整理事業	現況		田	表					○	△	水稲				×	×					○	△	水稲				×	×					○	△	水稲				×	×	作付体系の表示 播種 ○—○ 移植 △—△ 収穫 ×—×
											○	△	△	キャベツ	×	×							○	△	△	キャベツ	×	×							○	△	△	キャベツ	×	×	
				裏																																					
			普通畑	－																																					
	計画	水稲＋野菜	田	表					○	△	水稲				×	×					○	△	水稲				×	×					○	△	水稲				×	×	
											○	△	△	キャベツ	×	×							○	△	△	キャベツ	×	×							○	△	△	キャベツ	×	×	
													△	トマト	×										△	トマト	×										△	トマト	×		
											ブロッコリー				×								ブロッコリー				×								ブロッコリー				×		
											○	△			×								○	△			×								○	△			×		
				裏										キャベツ		×										キャベツ		×										キャベツ		×	
														○	△	△										○	△	△										○	△	△		
														ブロッコリー		×										ブロッコリー		×										ブロッコリー		×	
														○	△	△										○	△	△										○	△	△		
														ナバナ		×										ナバナ		×										ナバナ		×	
														○	△	×										○	△	×										○	△	×		
														レタス												レタス												レタス			
														○	△	×										○	△	×										○	△	×		
			畑	－							ブロッコリー				×								ブロッコリー				×								ブロッコリー				×		
											○	△			×								○	△			×								○	△			×		

4. 生　産　計　画　　（第９表－３）

事業名	項目 / 土地利用区分		作物名	作付面積 (ha) 現況	作付面積 (ha) 計画	作付面積 (ha) 増減	作付率 (%) 現況	作付率 (%) 計画	単位面積当たり収量 (kg/10a) 現況	単位面積当たり収量 (kg/10a) 計画	単位面積当たり収量 (kg/10a) 増減	生産量 (t) 現況	生産量 (t) 計画	生産量 (t) 増減	同左生産量の内訳 (t) 面積増減	同左生産量の内訳 (t) 単位面積当たり収量増加	備考
区画整理事業	水田	表作	水稲	24.6	19.2	△5.4	72	61	466	466	－	114.6	89.5	△25.1	△5.4	－	
			キャベツ	0.1	9.0	8.9	－	29	1,717	2,009	292	1.7	180.8	179.1	8.9	－	
			トマト		0.9	0.9	－	3	1,614	1,904	290	－	17.1	17.1	0.9	0.2	
			ブロッコリー		2.4	2.4	－	7	444	569	125	－	13.7	13.7	2.4	0.1	
		裏作	キャベツ		13.5	13.5	－	43	1,717	2,009	292	－	271.2	271.2	13.5	－	
			ブロッコリー		1.3	1.3	－	4	444	569	125	－	7.4	7.4	1.3	0.2	
			ナバナ		4.1	4.1	－	13	914	1,170	256	－	48.0	48.0	4.1	0.1	
			レタス		8.9	8.9	－	28	1,229	1,425	196	－	126.8	126.8	8.9	－	
	計			24.7	59.3	34.6	72	188	－	－	1,576	116.3	754.5	638.2	34.6	－	
	普通畑	表作	ブロッコリー		0.7	0.7	－	100	444	444	－	－	3.1	3.1	0.7	－	
	計			－	0.7	0.7	－	100	－	－	－	－	3.1	3.1	0.7	－	
合計				24.7	60.0	35.3	72	288	－	－	1,576	116.3	757.6	641.3	35.3	－	

5. 労 働 改 善 計 画　　（第９表－４）

事業名	項目／土地利用区分	作物名	作物面積(ha)	単位面積当たり労働投下量(hr/10a) 区分	現況	計画	増減	備考
区画整理事業	田	水稲	19.2	人力	37.4	14.2	△23.2	本地面積
				機械	25.8	9.2	△16.6	
		キャベツ(表)	9.0	人力	118.1	60.9	△57.2	
				機械	82.8	40.6	△42.2	
		トマト	0.9	人力	1,455.0	1,414.0	△41.0	
				機械	141.5	100.5	△41.0	
		ブロッコリー(表)	2.4	人力	125.1	84.7	△40.4	
				機械	31.9	21.5	△10.4	
		キャベツ(裏)	13.5	人力	160.3	108.5	△51.8	
				機械	46.3	20.7	△25.6	
		ブロッコリー(裏)	1.3	人力	106.1	82.7	△23.4	
				機械	32.5	19.1	△13.4	
		ナバナ	4.1	人力	518.4	166.5	△351.9	
				機械	55.4	73.0	17.6	
		レタス	8.9	人力	207.5	357.9	150.4	
				機械	114.0	112.1	△1.9	
	普通畑	ブロッコリー(表)	0.7	人力	125.1	84.7	△40.4	
				機械	31.9	21.5	△10.4	
	計		60.0					
合計					3,415.1	2,792.3	△622.8	

6. 級地別土地利用区分　　（第９表－５）

区分 ＼ 級地名 ＼ 土地利用区分		農用地造成（ha）					干拓（ha）					合計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	（普通畑）											
	（牧草畑）											
	樹園地											
	（果樹園）											
	（桑　園）											
その他												
計												

7. 土地配分計画　　（第９表－６）

項目 / 区分	配分戸数 (戸)	地目別配分計画 (ha)								備考
		田	輪換耕地	畑					計	
				普通畑	牧草畑	樹園地				
増反		(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	
入植		(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	

第３節　用水計画

1. 計画基準年　昭和59年　（1/10 年確率）

本地区の計画基準年は、下関地方気象台(下関観測所)の昭和21年～令和2年(75年間)の気象データに基づいて、かんがい期の有効雨量、連続干天日数及びかんがい期降雨量の確率計算を行い、指標の1/10年確率に相当する計画基準年を決定する。

2. 計画かんがい方式

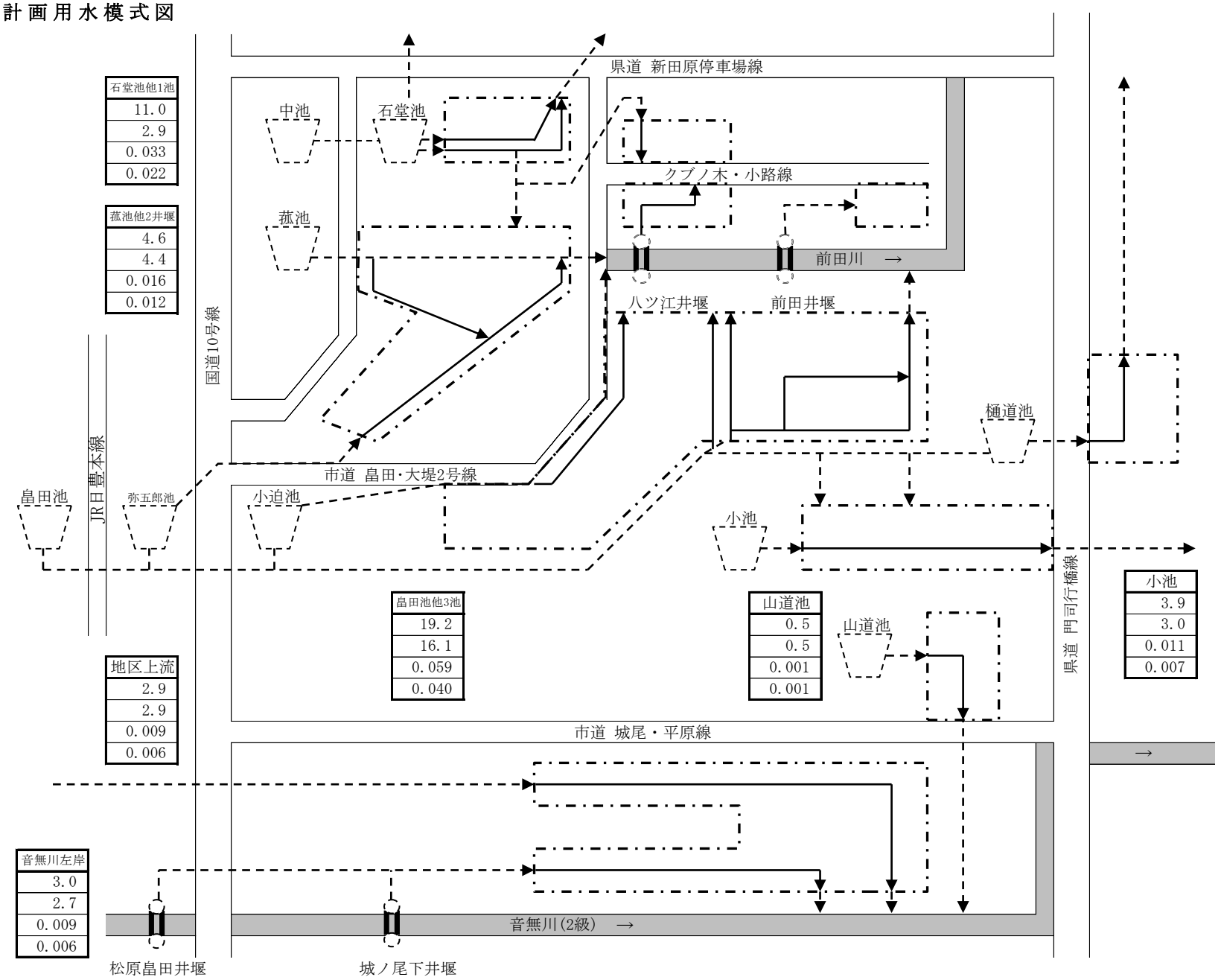
本地区は、音無川(2級)及び前田川の4井堰、地区上流水路1箇所、溜池9箇所により取水し、地区内の支線用水路(U字溝)により自然かんがいを行う。

輪換畑は、うね間かんがい方式とする。

3. 計画用水系統

別紙計画用水系統模式図参照　(P30-1)

計画用水模式図



石堂池他1池
11.0
2.9
0.033
0.022

菰池他2井堰
4.6
4.4
0.016
0.012

畠田池他3池
19.2
16.1
0.059
0.040

山道池
0.5
0.5
0.001
0.001

小池
3.9
3.0
0.011
0.007

地区上流
2.9
2.9
0.009
0.006

音無川左岸
3.0
2.7
0.009
0.006

凡例	
	既設ため池
	既設頭首工
	既設開水路
	計画開水路
	排水路
	地区界

路線名	
かんがい面積	(ha)
受益面積	(ha)
代掻期粗用水量	(m3/s)
普通期粗用水量	(m3/s)

4. 計 画 用 水 量

(1) かんがい用水

（第１０表－１－１）

項目 / 系統名	種別	面積(ha) 事業名			水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費水量	損失率	粗用水量		備考
		区画整理事業		計	普通期 計画平均単位用水量 (mm/日)	代かき期 計画代かき単位用水量 (mm)	面積 (ha)	一日当たり計画平均かん水深 (mm/日)	平均間断日数 (日)	面積 (ha)	一日当たり計画平均かん水深 (mm/日)	平均間断日数 (日)	面積 (ha)	計画平均単位用水量 (mm/日)	面積 (ha)			平均	最大	
																(m^3/s)	(%)	(m^3/s)	(m^3/s)	
石堂池他1池	農業用水	2.9		2.9	16.7	150	1.7	5	5	1.2	−	−	−	−	−	0.033	15～40	0.022	0.033	
菰池他2井堰	〃	4.4		4.4	19.6	150	2.7	5	5	1.7	−	−	−	−	−	0.016	〃	0.012	0.016	
畠田池他3池	〃	16.1		16.1	14.1	150	9.8	5	5	6.3	−	−	−	−	−	0.059	〃	0.040	0.059	
小池	〃	3.0		3.0	12.5	150	1.8	5	5	1.2	−	−	−	−	−	0.011	〃	0.007	0.011	
山道池	〃	0.5		0.5	12.5	150	0.3	5	5	0.2	−	−	−	−	−	0.001	〃	0.001	0.001	
地区上流	〃	2.9		2.9	12.5	150	1.8	5	5	1.1	−	−	−	−	−	0.009	〃	0.006	0.009	
音無川左岸	〃	2.7		2.7	12.5	150	1.7	5	5	1.0	−	−	−	−	−	0.009	〃	0.006	0.009	
計		32.5		32.5	−	−	19.8	−	−	12.7	−	−	−	−	−	0.138	−	0.094	0.138	−

(2) 営農飲雑用水　　（第１０表－１－２）

区　分	利用目的	対象面積 (ha)			日当たり給水量		補給回数	関係戸数	備考
		事業名							
				計	単位給水量 (ﾘｯﾄﾙ/日)	最大給水量 (ﾘｯﾄﾙ/日)	(回)	(戸)	

5. 水　源　計　画

(1)　水利用計画

（第１０表－２）

区分	項目	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源工種	備考
						水源名	取水地点利用可能量	ほ場利用可能量	純不足水量	全不足水量	水源名	水量		
		a (千m³)	b (千m³)	c=a-b (千m³)	d=c/(1-α) (千m³)		e (千m³)	f (千m³)	g=c-f (千m³)	h=d-e (千m³)		(千m³)		損失率：α
区画整理事業	石堂池他1池	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	貯水池	α ＝ 15%
	菰池他2井堰	－	－	－	－	前川	－	－	－	－	－	－	貯水池	
	畠田池他3池	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	貯水池	
	小池	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	貯水池	
	山道池	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	貯水池	
	地区上流	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	既設水路	
	音無川左岸	－	－	－	－	音無川	－	－	－	－	－	－	頭首工	
	計	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	

(2) 用 水 対 策

(ア) 貯 水 池

（第１０表－３）

項目 / 貯水池名	流域面積 (km²) 直接	流域面積 (km²) 間接	かんがい面積 (ha) 事業名 区画整理事業	かんがい面積 (ha) 事業名	かんがい面積 (ha) 計	純貯水量 (千m³)	利用貯水量 (千m³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m³/s)	備考
石堂池・中池	0.01	0.25	11.0		11.0	85.0	84.2	-	0.033	
菰池	0.62	0.48	3.6		3.6	10.0	9.9	-	0.013	
畠田池	0.11	0.51	19.2		19.2	43.0	42.6	-	0.059	
弥五郎池	0.01	-				10.0	9.9	-		
小迫池	0.02	-				18.0	17.8	-		
樋道池	0.07	-				35.0	34.7	-		
小池	0.19	-	3.9		3.9	50.0	49.5	-	0.010	
山道池	0.02	-	0.5		0.5	2.0	2.0	-	0.001	
計	1.05	1.240	38.2	-	38.2	253.0	250.6	-	0.116	

(ｲ)　井堰及び自然取入口　　（第１０表－４）

項目 ＼ 取水施設名	河川名	流域面積 (km^2)	かんがい面積 (ha) 事業名 区画整理事業	かんがい面積 (ha) 事業名	かんがい面積 (ha) 計	取水量 (m^3/s) 最大 (m^3/s)	取水量 (m^3/s) 平均 (m^3/s)	渇水量 (m^3/s)	備考
八ツ江井堰	前川	1.63	0.3		0.3	0.001	0.001	－	
前田井堰	〃	1.71	0.7		0.7	0.002	0.002	－	
松原畠田井堰	音無川	6.48	3.0		3.0	0.009	0.006	－	
城ノ尾下井堰	〃	6.59						－	
計			4.0		4.0	0.012	0.009		

(ｳ) 揚 水 機

（第１０表－５）

項目 / 名称	水源名	かんがい面積 (ha) 事業名			所要水量 (m^3/s)		揚水機				備考
		区画整理事業		計	最大 (m^3/s)	平均 (m^3/s)	実揚程 (m)	揚水量 (m^3/s)	台数 (台)	全揚水量 (m^3/s)	
計											

(ｴ) 用 水 路　　（第１０表－６）

項目 / 名称	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (m^3/s)	延長 (km)	構造	備考
	事業名						
	区画整理事業		計				
支線用水路	32.5		32.5	0.047	7.847	U字溝	(第1～30号)
計	32.5		32.5		7.847		

(ｵ)　その他の水源施設

―――――

(3) 水　温　水　質

―――――

第４節　排　水　計　画

1. 計画基準雨量

下関観測所降雨資料（昭和21～令和2年　75年間）に基づき確率計算により決定。

1時間雨量 …… 58.17㎜（1/10年確率）・39.21㎜（1/2年確率）

４時間雨量 …… 94.28㎜（1/10年確率）・64.55㎜（1/2年確率）

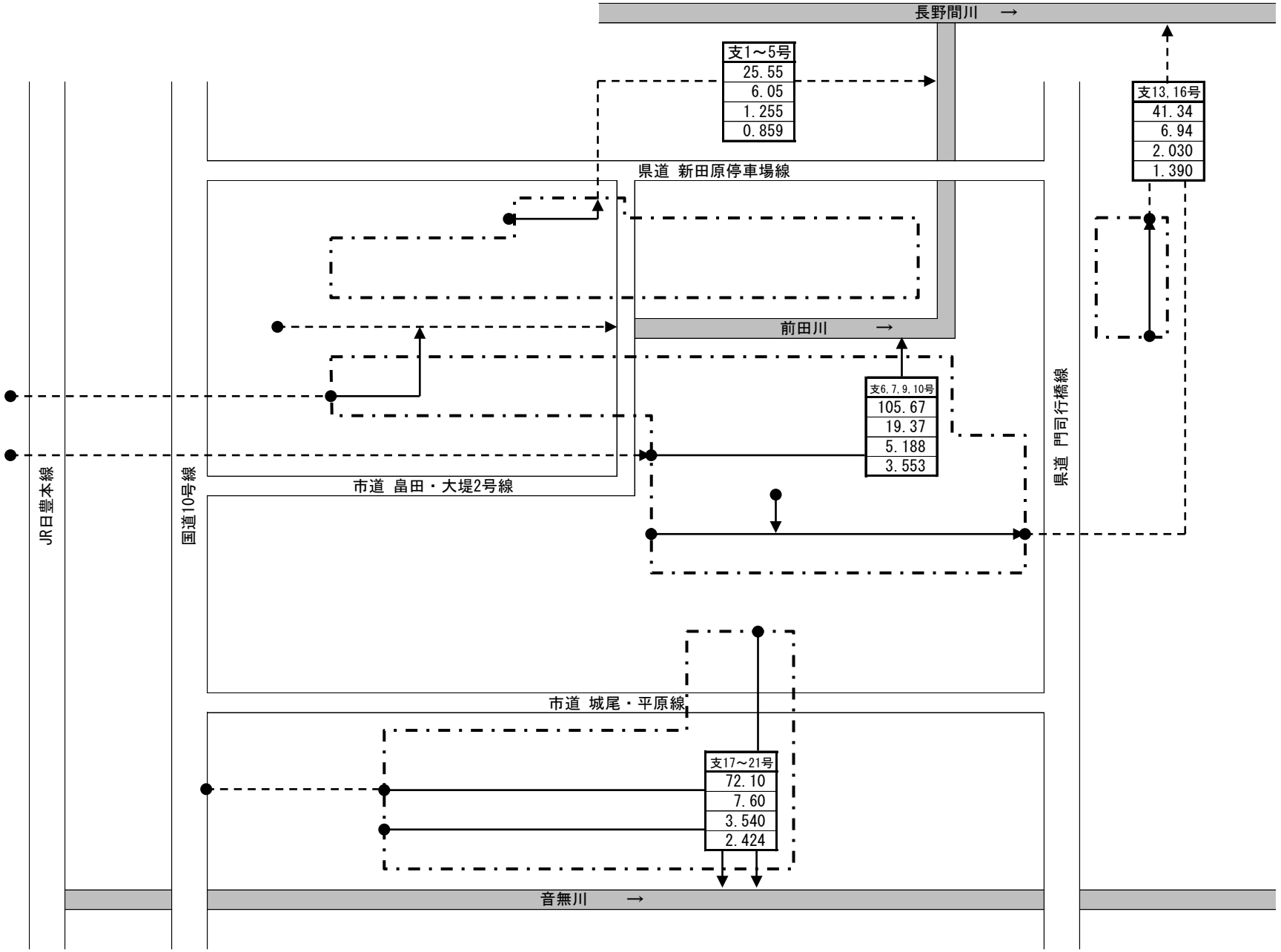
2. 計画排水方式

既設水路、前川・音無川へ自然排水

3. 計画排水系統

別紙添付（P38-1）

計画排水模式図



凡　例	
●……→	既設排水路
●——→	計画排水路
——・・——	地区界

路線名	
集水面積	(ha)
受益面積	(ha)
1/10排水量	(m^3/s)
1/2排水量	(m^3/s)

単位排水量(支線)	
1/10	0.04910 m3/s/ha
1/2	0.03362 m3/s/ha

4. 計 画 排 水 量

（第１１表－１）

項目 / 排水系統名	受益面積 (ha) 事業名 区画整理事業		計	流域面積 (km²) 山地	流域面積 (km²) 平地	基準雨量 (mm)	降雨による直接単位流出量 (m³/s/km²) 山地	降雨による直接単位流出量 (m³/s/km²) 平地	基底流出量 (m³/s/km²) 山地	基底流出量 (m³/s/km²) 平地	全排水量 (m³/s) 山地	全排水量 (m³/s) 平地 自然排水	全排水量 (m³/s) 平地 機械排水	単位排水量 (m³/s/km²) 山地	単位排水量 (m³/s/km²) 平地	備考
支線1～5号排水路	6.1		6.1	0.204	0.052	94.28	4.910	4.910	－	－	1.00	0.25	－	4.910	4.910	
支線6,7,9,10号排水路	19.4		19.4	0.894	0.163				－	－	4.39	0.80	－			
支線13,16号排水路	6.9		6.9	0.357	0.056				－	－	1.75	0.28	－			
支線17～21号排水路	7.6		7.6	0.660	0.061				－	－	3.24	0.30	－			
計	40.0		40.0	2.115	0.332						10.38	1.63	－	－	－	－

上段(1/10確率)、下段(1/2確率)

5. 排　水　対　策

（１）　排水水門　　（第１１表－２）

項目 / 名称	流域面積 (km^2)	受益面積 (ha) 事業名			計画排水量		排水本川			備考
				計	排水量 (m^3/s)	地区内湛水深 (m)	名称	計画洪水量 (m^3/s)	計画洪水位 (m)	
計										

（２）　排　水　機　　（第１１表－３）

項目 / 名称	流域面積 (km^2)	受益面積 (ha) 事業名			計画排水量		排水機				備考
				計	排水量 (m^3/s)	地区内湛水深 (m)	実揚程 (m)	排水量 (m^3/s)	台数 (台)	全排水量 (m^3/s)	
計											

(3) 排 水 路

（第１１表－４）

名称＼項目	流域面積 (km²)	受益面積 (ha) 事業名 区画整理事業		計	計画排水量 (m³/s)	延長 (km)	構造	排水本川 名称	計画洪水量 (m³/s)	計画洪水位 (m)	備考
支線排水路	2.447	40.0			12.013	5.189	ｺﾝｸﾘｰﾄ柵渠	前田川外	－	－	支線1～21号
計	2.447	40.0		－	12.013	5.189					

（4） そ の 他

該 当 な し

6. 湛水検討

該 当 な し

第５節　　道　路　計　画

1. 道路及び索道

（１）道路　　（第１２表－１）

項目 ＼ 路線名	幅（有効）　×　延長 (m)　　(km)	構　　造	既設道路との関係	備　　考
支　線　道　路	4.0(3.0)×5.599	砕石舗装	－	支線1～25号道路

(2) 索道

（第１２表－２）

項目 / 路線名	能力 (t/hr)	延長 (m)	接続道路名	備考
		該当なし		

2. 路線配置図

別紙計画平面図参照

第６節　　農用地造成計画

1. 農用地造成計画

（１）農用地造成計画　　（第１３表－１）

項目 / 土地利用区分	主要作物	自然傾斜	耕地の形態	標準区画の形状	備考
該当なし					

（１）末端道水路配置図

2. 土壌改良　　（第１３表－２）

項目 / 区分	面積 (ha)	土壌統(区)名	pH		置換酸度 (Y_1)	りん酸吸収係数 (mg/100g)	ha当たり所要量			備考
			H_2O	KCl			石灰 (t)	りん酸質資材 (t)	有機質資材 (t)	
該当なし										

第７節　　洪水調節計画

1. 計画基準雨量

該　当　な　し

2. 計画洪水量及び調節量　　（第１４表－１）

地　　点	流域面積 (km^2)	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m^3/s)	安全洪水量 (m^3/s)	必要調節量 (m^3/s)	ピーク時調節量 (m^3/s)	ピーク時調節後流量 (m^3/s)	調節後最大流量 (m^3/s)	調節前後の最大流量の差 (m^3/s)	最大調節量 (m^3/s)
該　当　な　し										

3. 貯　水　池　　（第１４表－２）

項目 / 貯水池名	流域面積 (km^2) 直接	流域面積 (km^2) 間接	計画洪水量 (m^3/s)	貯水量（千 m^3） 有効	貯水量（千 m^3） 洪水調節容量	貯水量（千 m^3） 他目的	計画調節流量 (m^3/s)	可能調節流量 (m^3/s)	備　考
該　当　な　し									

4. 洪　水　調　節　検　討

(1)　河川改修計画との関係

該　当　な　し

(2)　洪水調節が下流に及ぼす影響

該　当　な　し

(3)　計画基準雨量以外の降雨についての検討

該　当　な　し

5．管　理　計　画

(1) 管理機構

該　当　な　し

(2) ダム管理操作上の各種基準

該　当　な　し

(3) 洪水調節要領

該　当　な　し

（第１５表）

項目 / 名称	延長 (m)	計画高潮（水）位 (T.P.m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備考
該当なし						

第9節　農 用 地 整 備 計 画

1．区 画 整 理

(1) 区 画 の 形 状　　（第１６表－１）

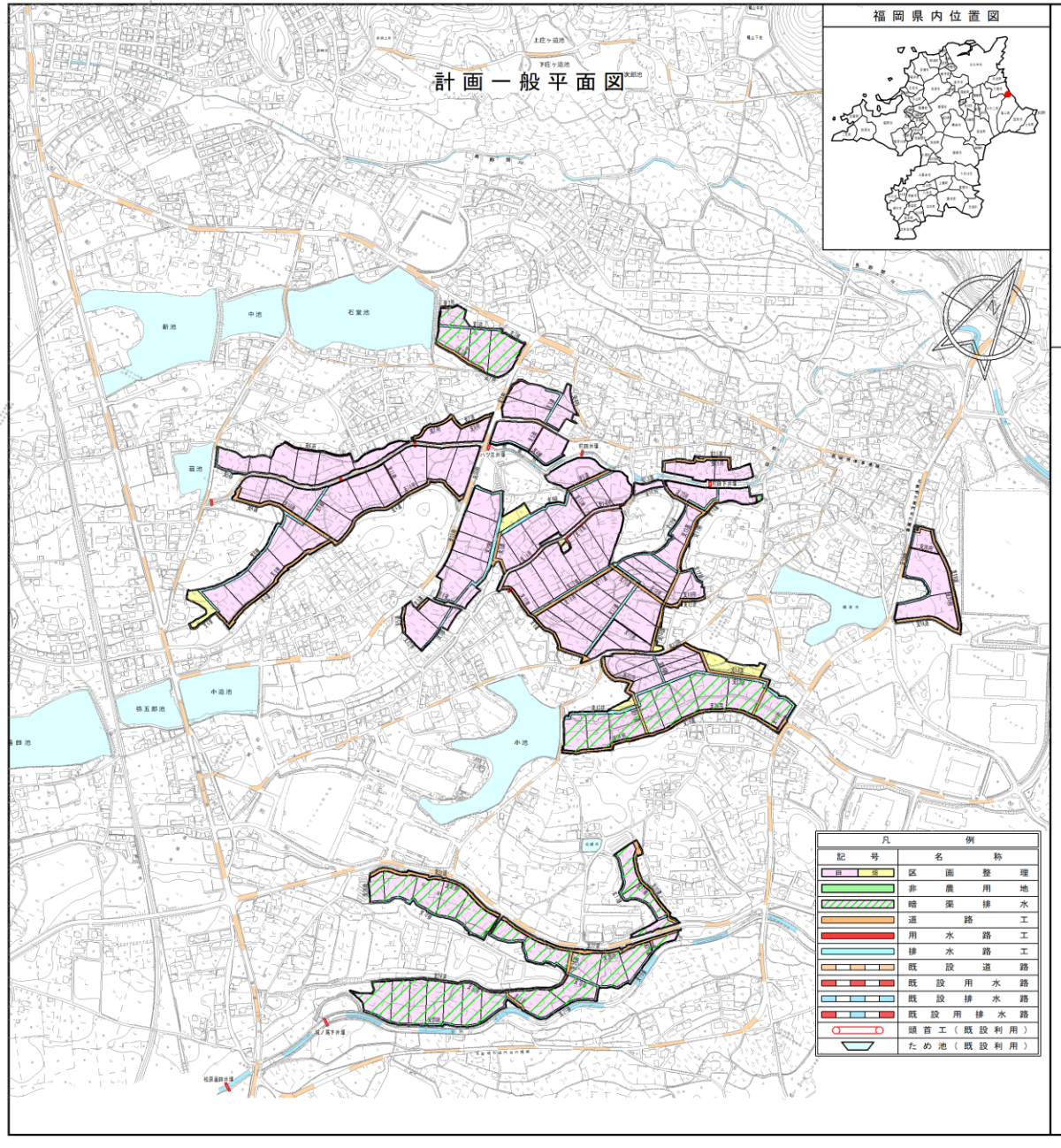
短辺 × 長辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
40×75	0.3	24.1	73	1.5m未満	
50×100	0.5	0.5	1	1.5m未満	
その他	0.3未満	8.6	26	1.5m未満	畑地含む
計		33.2	100		

(2) 表土扱い　　（第１６表－２）

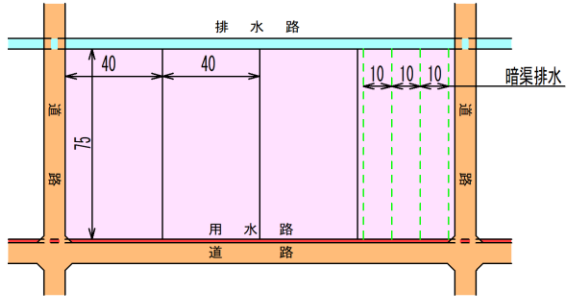
面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m^3)	備考
33.2	腐植含量	15	49,800	畦畔含まず (計画面積 33.2ha)

(3) 末端道水路配置図

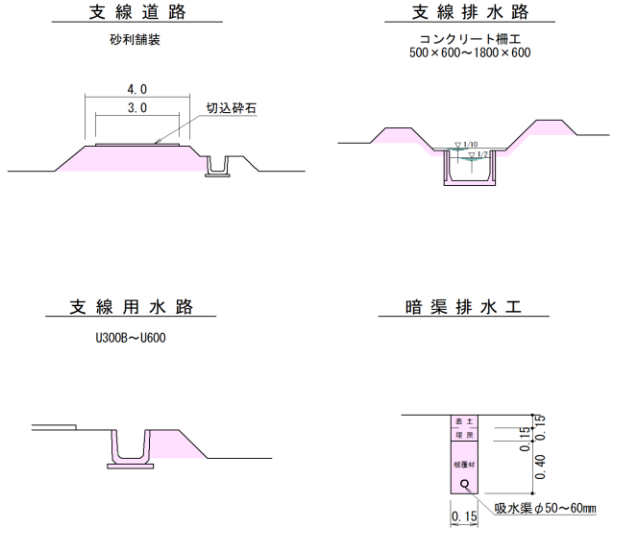
別紙図面参照 (p.50)



標準区画割図



標準構造図



2．暗 渠 排 水

(1) 暗渠排水

（第１６表－３－１）

項目 / 区分	面積 (ha) 事業名 区画整理事業		面積 (ha) 事業名 計	土壌統（区）名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 (mm/日)	計画後の地下水位 (m)	集水渠出口以下の排水方式	備考
本暗渠	10.3		10.3	グライ土壌群粘土型	94.28	30	0.5	自然排水	
			－						
			－						
			－						
計	10.3		10.3						

(2) 心土破砕

（第１６表－３－２）

項目 / 区分	面積 (ha) 事業名		面積 (ha) 事業名 計	土壌統（区）名	土壌硬度	備考
		該 当 な し				
計						

３．客　土

（第１６表－４）

項目 / 区分	面積（ha） 事業名 区画整理事業		計	（区）土壌名統	減水深（mm/日） 現況平均	計画平均	作土の厚さ（cm） 現況平均	計画平均	10a当たり客土量（m^3）	土壌の性質 受益地	採土地（客土材料）	備考
				該当なし								
計												

4．農 地 保 全

(1) 防災林

（第１６表－５－１）

項目 / 区分	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間隔 (m)	備考
		該 当 な し		

(2) 排 水 工

（第１６表－５－２）

項目 / 名称	基準雨量 (mm/日)	土性	流出率	排水量		備考
				単位排水量 ($m^3/s/ha$)	全排水量 (m^3/s)	
		該 当 な し				

(3) 浸食（崩壊）防止工　　（第１６表－５－３）

項目 / 施設名	位置	支配面積 (ha)	機能	備考
		該当なし		
計				

第10節　老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量

該当なし

(2) 計画洪水量

該当なし

2. 堤体補強計画

該当なし

3.取水施設改修計画

該　当　な　し

第５章　主要工事計画

第1節　　用水施設

1.貯水池　　（第１７表－１）

名　　称				位　　置						
	型　式	流域面積（K㎡）		堤　高	堤　長	堤体積	基礎地盤地質	貯水量（千m^3）		備　考
		直　接	間　接	(m)	(m)	(千m^3)		総貯水量	有効貯水量	
堤　体					該　当　な　し					
	型　式	洪水量（m^3/s）	備　考		型　式	取水量（m^3/s）		型　式	放流量（m^3/s）	
洪　水　吐				取水施設	該　当　な　し		放流施設			

2. 頭　首　工　　（第１７表－２）

名　　称				位　　置				備　　考
型　　式	堤　　高 (m)	堤　　長　(m)			取 水 位 (m)	取 水 量 (m^3/s)	付 帯 施 設	
		固 定 部	可 動 部	計				
			該 当 な し					

3. 揚　水　機　　（第１７表－３）

項目／名称	位置	揚水機 (m^3/s)	揚程 (m)		揚水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 (　)	台数 (台)	
該当なし											

4. 用　水　路　　（第１７表－４）

項目 / 水路名	かんがい面積（ha） 事業名 区画整理事業		計	通水量 (m^3/s)	延長（km） 開きょ	トンネルその他	計	構造	勾配	主要構造物	備考
支線用水路	32.5		32.5	0.002～0.047	7.847	-	7.847	U字溝	1/800	－	
計	32.5		32.5	－	7.847	－	7.847	－	－	－	－

5. その他かんがい施設

該当なし

第２節　排 水 施 設

1. 排 水 水 門

（第１８表－１）

項目 / 名称	位置	型式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m^3/s)	備考
該当なし							
計							

2. 排 水 機

（第１８表－２）

項目 / 名称	位置	排水量 (m^3/s)	揚程 (m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 ( )	台数 (台)	
該当なし											
計											

3. 排 水 路

（第１８表－３）

項目 / 水路名	受益面積 (ha) 事業名 区画整理事業		計	排水量 (m^3/s)	延長 (km) 開きょ	トンネルその他	計	構造	勾配	主要構造物	備考
支線排水路	40.0		40.0	0.029～3.406	5.189	－	5.189	RC柵渠	1/200～1/800	－	
計	40.0		40.0	－	5.189	－	5.189	－	－	－	－

4. その他排水施設

該 当 な し

第３節　道 路 及 び 索 道

１．道　　路

(1)道路の総括表　　（第１９表－１）

項目 / 路線名	区　分	幅(有効)(m) × 延長 (km)	構　造	付帯構造物			最急こう配 (%)	同左の延長 (m)	最小曲線半径 (m)	備　考
				名　称	構　造	数　量 (箇所)				
支　線　道　路	支線道路	4.0(3.0) ×5.599	砕石舗装	暗渠	RC	35	12	－	－	

(2)　道路主要構造物　　（第１９表－２）

項目 / 路線名	名称	規模構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	備考
		該当なし			

2．索　　道　　（第１９表－３）

項目 / 名称	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原動機 型式	原動機 動力 (　)	備考
該当なし						

第４節　農 用 地 造 成

１．農 用 地 造 成

(1) 抜　　根　　（第２０表－１）

項目 / 区分	樹種	樹径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考
			該当なし			
計						

(2) 除　　礫　　（第２０表－２）

項目 / 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m^3/ha)	面積 (ha)	工法	備考
			該当なし		
計					

(3) 開 墾 作 業　　（第２０表－３）

区分＼項目	地目	造成工法	面積 (ha)	工法	備考
該当なし					
計					

(4) 地 目 変 換　　（第２０表－4）

区分＼項目	面積 (ha)	工法	備考
該当なし			
計			

(5) 末端用水路等　　（第２０表－5）

項目 / 区分	数量	規模	構造	備考
	該当なし			
計				

(6) 末端排水路等　　（第２０表－6）

項目 / 区分	数量	規模	構造	備考
	該当なし			
計				

2. 土 壌 改 良

（第２０表－7）

項目 / 区分	面積 (ha)	石灰量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備考
該当なし					
計					

第５節　洪 水 調 節 施 設

１．貯　水　池

施　設　名	廃止・既設 利用・改修 新設の別	設置年	設 置 事 業	河 川 名	集水面積 km^2	かんがい 面　積 ha	構　造　規　模			総貯水量 千m^3	有効貯水量 千m^3	備　考
							形　式	高　さ m	堤体積 千m^3			
				該　当　な　し								
計												

２．頭首工及び導水路

(1) 頭　首　工　　（第２１表－２）

名　　称			位　　置					備　　考
			堤　　長　(m)			計画洪水位 (m)	付帯施設	
型　　式	集水面積 (km^2)	堤　高 (m)	固　定　部	可　動　部	計			
			該　当　な　し					

(2)導 水 路　　（第２１表－３）

項　目 水路名	通　水　量 (m^3/s)	堤　　長　(m)			構　造	勾　配	備　　考
		トンネル	その他	計			
			該　当　な　し				

第６節　干　拓　施　設

１．堤　　防

（第２２表－１）

項目／名称	型式	延長 (m)	構造					原地盤標高 (m)		備考
			提頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高及び舗装	上流斜面	下流斜面	平均	最低	
該当なし										

２．潮　止　め

（第２２表－２）

項目／名称	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考
該当なし							

3. 付　属　施　設

該　当　な　し

4. 埋　　立　　（第２２表－３）

項目／区分	面　積 (ha)	埋　立　標　高 (m)	埋　立　土　量 (m^3)	施　工　方　法	備　考
		該　当　な　し			

第７節　　農用地整備施設

1. 区画整理

(1)区画整理　　（第２３表－１）

工　区　名	面　積 (ha)	整　地　工		表　土　扱　い		備　考
		標　準　区　画	土　量 (m^3)	面　積 (ha)	土　量 (m^3)	
稲童	33.2	40m×75m (3000m2)	49,800	33.2	49,800	

(2) 末 端 用 水 路 等　　（第２３表－２）

区分＼項目	数　量	規　模	構　造	備　考
支線用水路	7,847m	U-300B～600	U字溝	
計	7,847m	－	－	

(3) 末 端 排 水 路 等　　（第２３表－３）

区分＼項目	数　量	規　模	構　造	備　考
支線排水路	5,189m	500×600～1800×600	コンクリート柵工	
計	5,189m	－	－	

2. 暗渠排水

(1)暗渠排水　　（第２３表－４－１）

項目 / 区分	面積 (ha) 事業名			集水渠				吸水渠						集水渠出口以下の排水施設			備考
	区画整理事業		計	勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造	数量 (m/ha)	
本暗渠	10.3		10.3	1/250	VU管	50～65	67	1/500	有孔管	50～60	0.7	10	1,307	支線排水路	柵渠	156	
計	10.3		10.3														

(2)心土破砕　　（第２３表－４－2）

項目 / 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m^3/ha)	面積 (ha)	工法	備考
		該当なし			
計					

3. 客　　土　　（第２３表－５）

項目 / 区分	面積 (ha) 事業名 区画整理事業		計	客土土量 (m^3)	土取場土量 (m^3)	運搬距離 (km)	運搬方法	備考
				該当なし				
計								

4. 除　　礫　　（第２３表－６）

項目 / 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m^3/ha)	面積 (ha)	工法	備考
		該当なし			
計					

5. 農 地 保 全

(1) 防　災　林　　（第２３表－７）

項目 / 区分	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考
			該当なし			
計						

(2) 排　水　路　　（第２３表－８）

項目 / 区分	延長 (m)	流量 (m^3/s)	構造	備考
			該当なし	
計				

(3) 浸食防止工　　（第２３表－９）

項目 / 名称	構造	数量	備考
		該当なし	
計			

第８節　　老朽ため池改修施設

1. 貯　水　池　　（第２４表）

名　　称					位　　置			
堤　　体	型　式	流　域 (km^2)	堤　高 (m)	堤　長 (m)	堤体積 (m^3)	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m^3)	備　　考
		該　当　な　し						
洪　水　吐	型　式	洪水量 (m^3/s)	規　模 (m)	備　　考	取水施設	型　式	取水量 (m^3/s)	備　　考
		該　当　な　し					該　当　な　し	

2. 堤体補強施設

(1) のり面保護施設

該　当　な　し

(2) 漏水防止工

該　当　な　し

第６章　　付帯工事計画

該　当　な　し

第７章　　工事の着手及び完了の予定時期

着工予定年度 …… 令和 5 年度
完了予定年度 …… 令和 15 年度

第８章　　環境との調和への配慮

１．施工上の配慮

工事施工時には工事に起因する汚濁水の発生を未然に防ぎ環境への負荷を最小限に抑えるよう配慮する。又、区域内に棲息する、希少動物等を発見した場合は、移植等の保護対策を早急に検討する。

２．施工計画上の配慮

排水路、用水路等の合流部や落差工については、溜桝工を多く設置し、流速を抑えた区間を確保することで水生植物、昆虫類の生息空間を創出する。

第９章　換 地 計 画 の 概 要

第１節　換地計画を作成する上での基本的な考え方

各農家の各所に分散する農用地の集団化、その他農業構造の改善及び処分の早期完了を図るため、工事着手前において換地計画に関する基礎調査及び換地設計基準を作成し、換地区全域の換地計画原案を作成する事前換地とする。なお、換地計画原案樹立にあたっては、地区内農家の意向を反映し、地域における農業振興計画及び土地利用計画との調整を関係機関と十分協議し作成する。

第２節　換地区の設定

１．換地区の名称、所在、面積　（第２５表－１）

換　地　区　名	換 地 区 の 所 在	面　積 (ha)
稲童地区第１換地区 稲童地区第２換地区	福岡県行橋市大字稲童	7.6 32.4

２．換地区を設定する理由

該当なし

第３節　換地区計画樹立の基本方針

1．従前の土地の地積の基準　（第２５表－２）

換　地　区　名	地積の基準
稲童地区第１換地区 稲童地区第２換地区	換地交付の基準とする従前の土地の地積は土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とする。ただし、上記の日から2ヶ月以内に測量士、測量士補又は土地家屋調査士の測量した測量図及び隣接所有者の同意書を添付して申し出があった場合はその地積とする。

2. 用途別予定地積

（単位：ha）（第２５表－３）

換地区名 ＼ 用途（取得予定者） ／ 前後		非農用地区域外に換地する土地												非農用地区域に換地する土地										機能交換に係る土地				一般国公有地	総合計
		田	畑	山林・原野	その他	通常事業施行地域に含める土地（令第１条の９（ ）書き）			計	本事業によって生ずる土地改良施設用地			創設農用地	合計	特定用途用地			異種目換地	創設非農用地				合計	国	県	市町村他	合計		
						土地改良施設	その他	小計		改良区	その他	計			宅地	その他	計		農業経営合理化施設用地	必要な生活上・経営上施設用地	公用・公共用施設用地	宅地等	計							
第1	従前の土地	7.0	－	－	－	－	－	－	7.0	－	－	－	－	7.0	－	0.0	0.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.6	0.6	－	7.6
	換地	6.1	－	－	－	－	－	－	6.1	－	－	－	－	6.1	－	0.0	0.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1.5	1.5	－	7.6
第2	従前の土地	28.9	0.6	－	－	－	－	－	29.5	－	－	－	－	29.5	－	0.0	0.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2.9	2.9	－	32.4
	換地	26.4	0.7	－	－	－	－	－	27.1	－	－	－	－	27.1	－	0.0	0.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	5.3	5.3	－	32.4
	従前の土地																													
	換地																													
	従前の土地																													
	換地																													
	従前の土地																													
	換地																													
	従前の土地																													
	換地																													
合計	従前の土地	35.9	0.6	－	－	－	－	－	36.5	－	－	－	－	36.5	－	0.0	0.0	－	－	－	－	－	－	0.0	－	－	3.5	3.5		40.0
	換地	32.5	0.7	－	－	－	－	－	33.2	－	－	－	－	33.2	－	0.0	0.0	－	－	－	－	－	－	0.0	－	－	6.8	6.8		40.0

3．農用地集団化の方針

（第２５表－４）

区分／換地区名	地帯別・グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	一戸当り目標団地数	区画畦畔の取り扱い
稲童地区第１換地区 稲童地区第２換地区	集落別集団化 地目別、作物別集団化（第２のみ） 営農グループ別集団化	換地は、原則として各人の従前の土地が最も密集した位置を中心に集団化する。	1～2	畦畔は、配分面積に応じて移動して定めるものとする。畦畔の設定にあたっては、原則として短辺が10m以下となるような設定はしない。

4．非農用地換地の方法

（第２５表－５）

区分／換地区名	用途	非農用地区域の位置の概略	面積（㎡）	換地の手法	換地取得予定者	その他
稲童地区第１換地区	ポンプ場	福岡県行橋市大字稲童字城尾	34	特定用途用地	行橋市	
稲童地区第２換地区	農業用倉庫	福岡県行橋市大字稲童字西畠田	182		（亡）廣門勝の相続人	
	農業用倉庫	福岡県行橋市大字稲童字大堤	74		中原安藏	

第４節　　土地の評価及び清算の方法

1．評価の方法

項目別配点方式

2．清算の方法

比例地積清算方式

第５節　　換地計画樹立の年度計画　　（第２５表－６）

区　分 換地区名	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換 地 処 分 予 定 年 度	備　　考
稲童地区第１換地区	令和９年度	令和１０年度	令和１１年度	
稲童地区第２換地区	令和１０～１３年度	令和１４年度	令和１５年度	

第６節　　換地処分の時期に関する特則　　換地区全部について区画変更工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第89条の2第10項において準用する同法第54条第2項本文の規定に関わらず換地処分を行うものとする。

第10章　事業費の総額及び内訳　区画整理工

（第２６表）

区分＼事業名		区画整理事業（百万円）	備考
工事費		1559.0	
工事雑費		26.0	
地方事務費		78.0	
計		1663.0	
（関連事業参考）			

第11章　効用

（第２７表）

事業名	区分＼項目	年総効果額（千円）	年総増加所得額（千円）	備考
区画整理事業	作物生産効果	39,927	56,629	
	営農経費節減効果	27,163	28,698	
	維持管理費節減効果	△ 1,685	△ 96	
	国産農産物安定供給効果	11,827	－	
	計	77,232	85,231	

〈参考〉

総便益額：1,543,644　千円　　総費用総便益比：1.06　　総所得償還率：-%

第12章　　関連する事業

（第２８表）

区分	事業名	事業主体	受益面積 (ha)	事　業　内　容
	該当なし			

第13章　　現況・計画図面

1．現況平面図

添付図面参照

2．計画平面図及び土地利用計画図

添付図面参照

3．主要構造図

添付図面参照

県営土地改良（区画整理）事業　稲童地区　位置図

福岡県　稲童地区　計画一般図

縮尺　1/25,000



苅田町
行橋市
みやこ町
築上町

凡　例	
	市　町　村　界
	受　益　地
市	市　役　所
農	農　　協
ラ	ライスセンター

工事名	令和5年度 農地中間管理機構関連農地整備事業 稲童地区		
図面名	計画一般図		
作成年月日	令和4年　月　日		
縮尺	1：25,000	図面番号	1
会社名	福岡県土地改良事業団体連合会		
事業(務)所名	福岡県行橋農林事務所		

県営土地改良(区画整理)事業　　稲童地区　現況平面図　S=1:10000



県営土地改良(区画整理)事業　　稲童地区　字図　S=1:10000



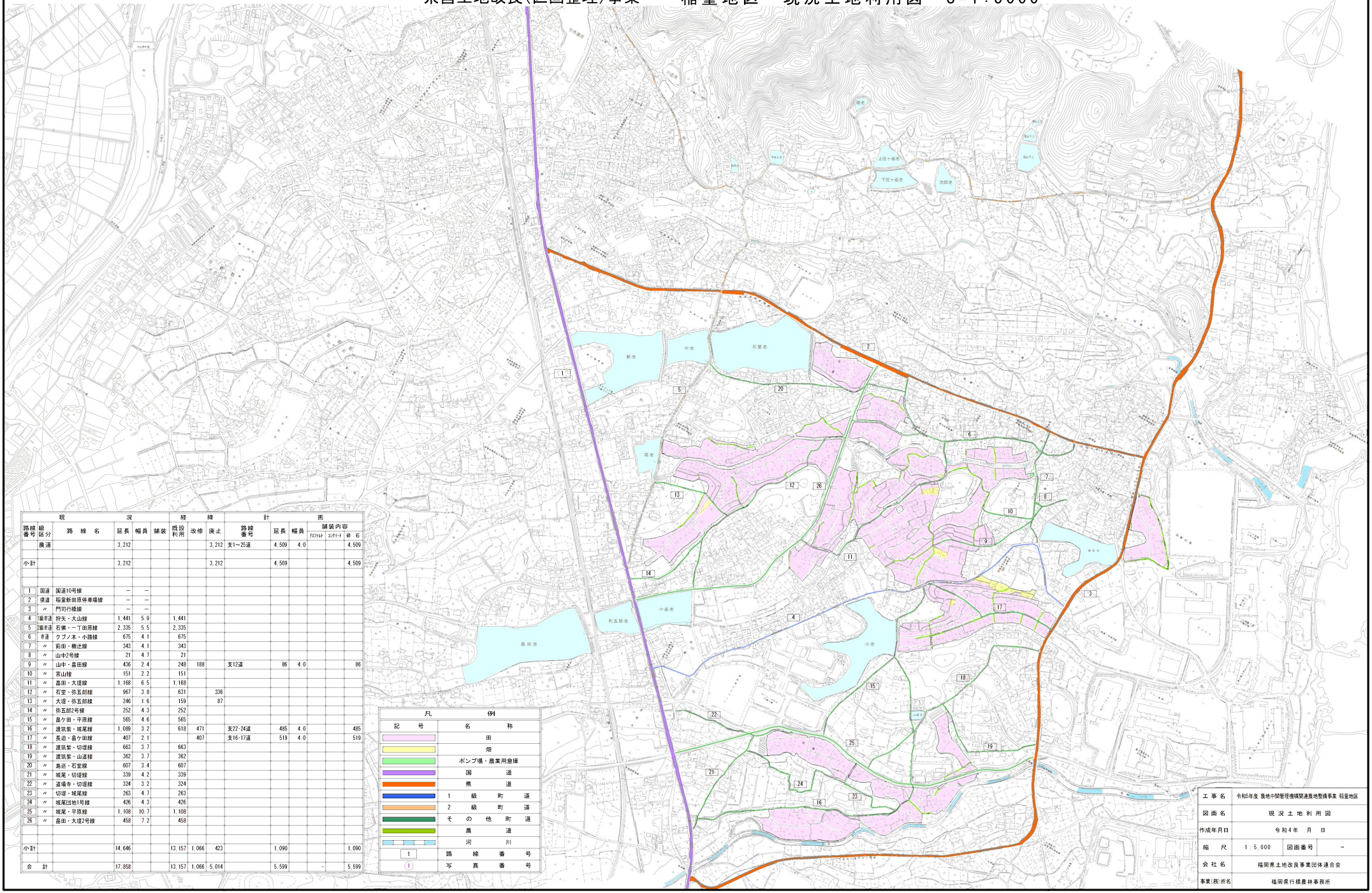
凡　例	
	田
	畑
	ポンプ場
	農業用倉庫
	道　路
	水　路
	字　界
	地区界

県営土地改良(区画整理)事業　　稲童地区　計画平面図　S=1:3000



工事名	令和5年度 農地中間管理機構関連農地整備事業 稲童地区
図面名	計画平面図
作成年月日	令和4年　月　日
縮尺	1:3,000　図面番号　-
会社名	福岡県土地改良事業団体連合会
事業(務)所名	福岡県行橋農林事務所

県営土地改良(区画整理)事業　　稲童地区　現況土地利用図　S=1:5000



現況 路線番号	区分	路線名	延長	幅員	舗装	経緯 既設利用	改修	廃止	計 路線番号	延長	幅員	舗装内容 アスファルト	コンクリート	砕石
	農道		3,212					3,212	支1～25道	4,509	4.0			4,509
小計			3,212					3,212		4,509				4,509
1	国道	国道10号線	−	−										
2	県道	稲童新田原停車場線	−	−										
3	〃	門司行橋線	−	−										
4	協定道	狩矢・大山線	1,441	5.9		1,441								
5	協定道	石徳・一丁田原線	2,335	5.5		2,335								
6	市道	クブノ木・小路線	675	4.1		675								
7	〃	前田・椿迂線	343	4.1		343								
8	〃	山中2号線	21	4.7		21								
9	〃	山中・畠田線	436	2.4		248	188		支12道	86	4.0			86
10	〃	宮山線	151	2.2		151								
11	〃	畠田・大堤線	1,168	6.5		1,168								
12	〃	石堂・弥五郎線	967	3.8		631		336						
13	〃	大堤・弥五郎線	246	1.6		159		87						
14	〃	弥五郎2号線	252	4.3		252								
15	〃	畠ケ田・平原線	565	4.6		565								
16	〃	遅筑紫・城尾線	1,089	3.2		618	471		支22-24道	485	4.0			485
17	〃	長迫・畠ケ田線	407	2.1			407		支16-17道	519	4.0			519
18	〃	遅筑紫・切堤線	663	3.7		663								
19	〃	遅筑紫・山道線	362	3.7		362								
20	〃	島巡・石堂線	607	3.4		607								
21	〃	城尾・切堤線	339	4.2		339								
22	〃	道場寺・切堤線	324	3.2		324								
23	〃	切堤・城尾線	263	4.7		263								
24	〃	城尾団地1号線	426	4.3		426								
25	〃	城尾・平頂線	1,108	10.7		1,108								
26	〃	畠田・大堤2号線	458	7.2		458								
小計			14,646			13,157	1,066	423		1,090				1,090
合　計			17,858			13,157	1,066	5,014		5,599		−		5,599

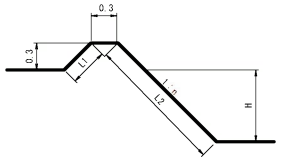
凡例 記号	名称
	田
	畑
	ポンプ場・農業用倉庫
	国道
	県道
	1級町道
	2級町道
	その他町道
	農道
	河川
1	路線番号
①	写真番号

工事名	令和5年度 農地中間管理機構関連農地整備事業 稲童地区
図面名	現況土地利用図
作成年月日	令和4年　月　日
縮尺	1:5,000　図面番号 −
会社名	福岡県土地改良事業団体連合会
事業(務)所名	福岡県行橋農林事務所

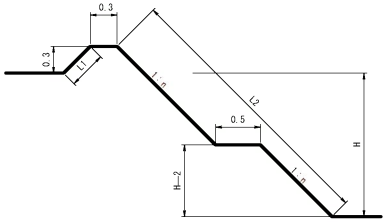
県営土地改良(区画整理)事業　　稲童地区　付帯工標準構造図

畦畔工

（Ｈ≦1．7の場合）



（Ｈ＞1．7の場合）



H	法面			H	法面		
	L1	L2	計		L1	L2	計
0.0	0.42	0.42	0.84	1.0	0.42	1.83	2.25
0.1	〃	0.56	0.98	1.1	〃	2.18	2.60
0.2	〃	0.70	1.12	1.2	〃	2.34	2.76
0.3	〃	0.84	1.26	1.3	〃	2.50	2.92
0.4	〃	0.98	1.40	1.4	〃	2.65	3.07
0.5	〃	1.13	1.55	1.5	〃	2.81	3.23
0.6	〃	1.27	1.69	1.6	〃	2.96	3.38
0.7	〃	1.41	1.83	1.7	〃	3.12	3.54
0.8	〃	1.55	1.97				
0.9	〃	1.69	2.11				

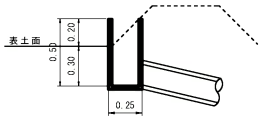
H	n
H≦1.0	1.0
1.0<H≦1.7	1.2
1.7<H	1.2

※　法勾配の変更及び小段の位置・幅等については、監督員と打合せる事。

※　H＞1.0mについては、種子吹付き畦畔天端まで行なうものとする。
種子吹付の仕様については、排水路工標準構造図を参照の事。

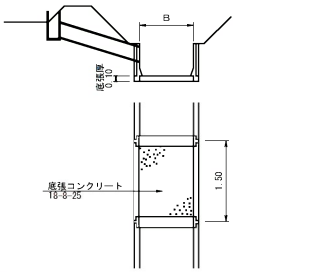
田面排水桝設置図

排水桝　500型



田面排水落口保護工

柵工１スパン

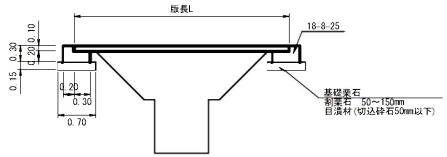


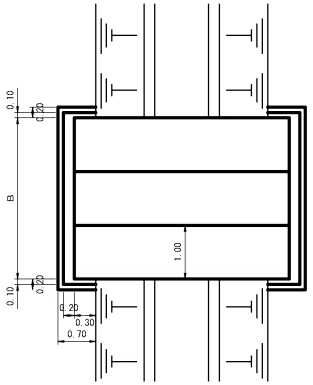
※　底張コンクリート打設にあたっては、床均し又はコンパクター等による転圧を行ない、コンクリート部に土砂が混入しないように基準の寸法に仕上げなければならない。

機械進入路橋図

簡易ＰＣ版Ｔ－４ｔ橋

※　監督員と打合の事



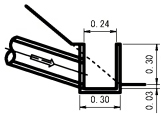


用水受桝設置図

Ｈ＞１．０ｍの場合



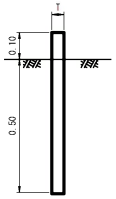
受桝　240型



※　監督員と打合の事

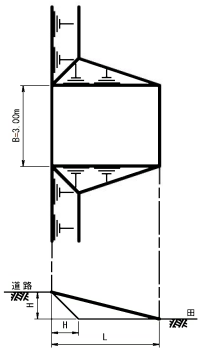
境界杭設置図

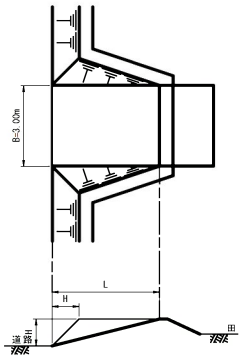
プラスチック杭
45×45×600mm

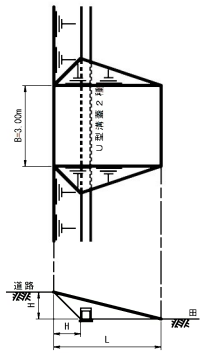


進入路工

L=4H





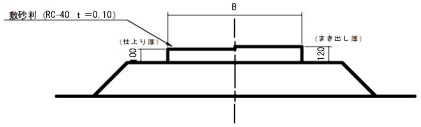


工事名	令和3年度　稲童地区 農地中間管理機構関連農地整備事業
図面名	付帯工標準構造図
作成年月日	令和　　年　　月　　日
縮尺	－
図面番号	－
会社名	
事業(施)所名	

県営土地改良(区画整理)事業　　稲童地区　道路工標準構造図

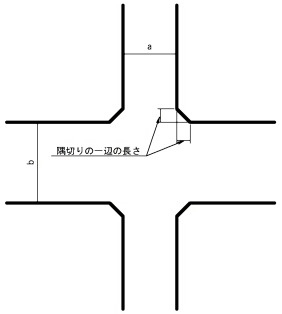
道路工標準断面図

土砂系舗装(砕石)



※　路体工は、ブルドーザーにより1層0.3m以下で履帯転圧を行う事。
※　使用機種については施工計画書に明示し、監督員の承認を得る事。
※　使用材料については、監督員の承認を得る事。

隅切り標準断面図

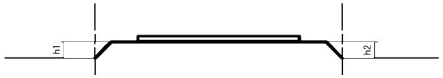


隅切りの一辺の長さ　単位：m

交差する農道の車線幅員		a		
		3	4	5
b	3	2.0	1.5	1.0
	4	1.5	1.0	0.5
	5	1.0	0.5	0.5

路体工標準断面図

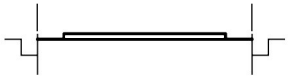
路体工（両側法面有り）



路体工（片側法面有り）



路体工（法面なし）

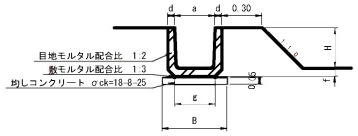


工事名	令和3年度　稲童地区 農地中間管理機構関連農地整備事業
図面名	道路工標準構造図
作成年月日	令和　　年　　月　　日
縮尺	－
図面番号	
会社名	
事業(施)所名	

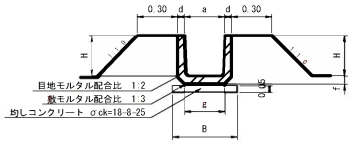
県営土地改良(区画整理)事業　　稲童地区　用水路工標準構造図

U字溝・分水溝布設

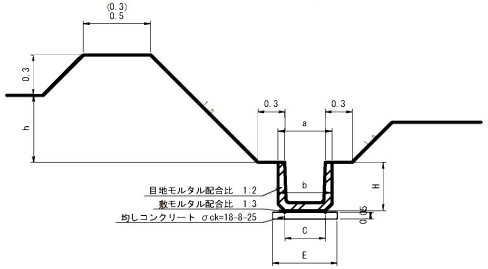
Aタイプ



Bタイプ



排水路型



使用区分	規格	寸法 (m) a	g	f	d	B	H
	U-240	0.24	0.24	0.050	0.045	0.42	0.24
	U-300	0.30	0.30	0.060	0.050	0.48	0.30
	U-360	0.36	0.36	0.065	0.050	0.59	0.36
	U-450	0.45	0.43	0.070	0.055	0.69	0.45
	U-600	0.66	0.66	0.080	0.070	0.86	0.60

(モルタル1m3当り数量)

モルタル配合比区分	セメント (ton)	砂砂(細骨) (m3)
1:1	1.10	0.75
1:2	0.72	0.95
1:3	0.53	1.05

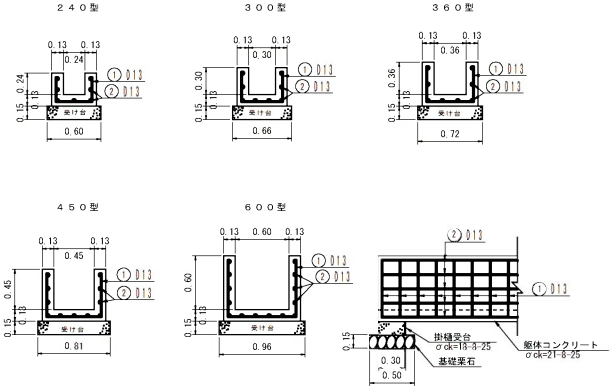
使用区分	規格	寸法 (m) a	b	c	H	t
	U-180	0.25	0.25	0.19	0.220	0.35
	U-240	0.33	0.32	0.24	0.290	0.42
	U-300	0.40	0.38	0.30	0.360	0.48
	U-360	0.46	0.44	0.36	0.425	0.59
	U-450	0.56	0.54	0.43	0.520	0.69
	U-600	0.74	0.70	0.60	0.680	0.86

h	n
h ≦ 1.0	1.0
1.0 < h ≦ 1.7	1.2
1.7 < h	1.2 ※小段有り

※　法勾配の変更及び小段の位置・幅等については、監督員と打合せる事。

※　目地モルタルは、目地コテ仕上げとする。

掛　樋　工

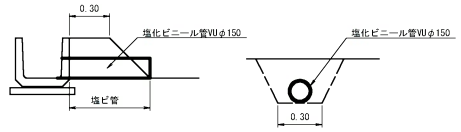


使用区分	規格	床版部 B m	H m	t m	t m	鉄筋 ① D m/m	L m	s t c m	② D m/m	N 本	許容延長(m) 使用鉄筋② D13mm	D16mm
	２４０型	0.24	0.24	0.13	0.13	13	0.88	0.25	※	7	5.0	6.3
	３００型	0.30	0.30	0.13	0.13	13	1.06	0.25	※	8	4.9	6.2
	３６０型	0.36	0.36	0.13	0.13	13	1.24	0.25	※	8	4.9	6.1
	４５０型	0.45	0.45	0.13	0.13	13	1.51	0.25	※	11	4.7	5.9
	６００型	0.60	0.60	0.13	0.13	13	1.96	0.25	※	14	4.6	5.6

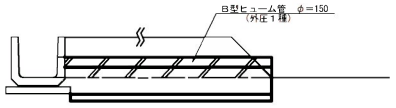
〔注意事項〕
- 鉄筋の規格は、ＳＤ３４５同等品以上とする。
- 鉄筋のかぶりは、6cmを標準とする。
- 鉄筋②の ※(㎜)については、許容延長により決定する事。
- 切欠の有無及び、位置については、監督員と打ち合わせる事。
- 許容延長を超える場合は、監督員と打ち合わせる事。

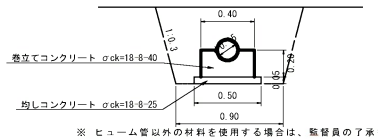
用水路落差工図

取水円管布設工(直接)



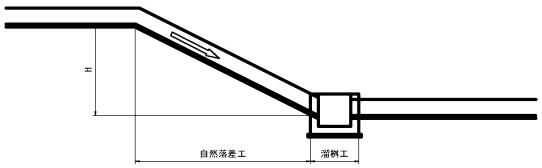
取水円管布設工(道路横断)



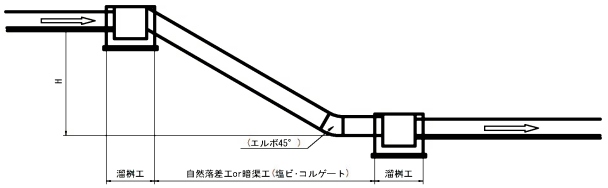


※　ヒューム管以外の材料を使用する場合は、監督員の了承を得ること。

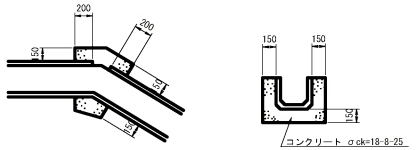
①　1.70≧H＞1.00mの場合　落差(溜桝)工



②　H＞1.70mの場合　落差(溜桝)工



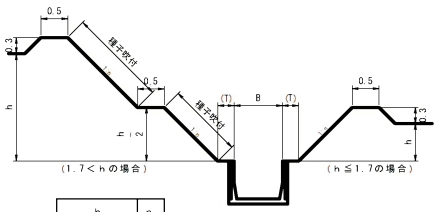
用水路屈折工参考図



工事名	令和3年度　稲童地区 農地中間管理機構関連農地整備事業
図面名	用水路工標準構造図
作成年月日	令和　年　月　日
縮尺	－ 図面番号
会社名	
事業(社)所名	

県営土地改良(区画整理)事業　　稲童地区　排水路工標準構造図

排水路工（鉄筋コンクリート柵工）

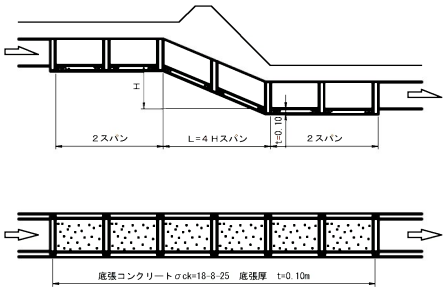


h	n
h ≦ 1.0	1.0
1.0＜h≦1.7	1.2
1.7 ＜ h	1.2

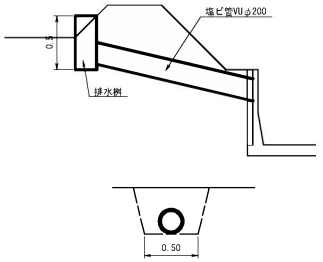
※　柵渠の種別はII型とする。
※　柵板の最下段は最下段用の切欠付を使用すること。
※　溝縁（T）は、0.3mとする。
※　法勾配の変更及び小段の位置・幅等については、監督員と打合せること。
※　柵渠の埋戻しについては、良質土（流用土）で行い、30cm毎にまき出し、コンパクター等又は、人力で充分突き固めること。
※　H＞1.0mについては、種子吹付を溝畔天端まで行なうものとする。

排水路自然落差工図

（H≦2.0mの場合）

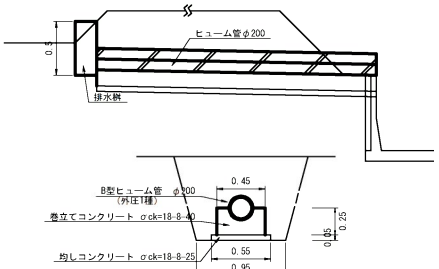


田面排水工（直接）



※　田面排水管を種梁の天端に設置する場合は、監督員と打合せのこと。

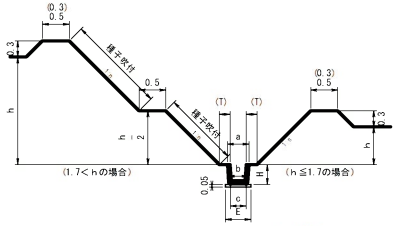
田面排水工（道路横断図）



※　ヒューム管以外の材料を使用する場合は、監督員の了承を得ること。

※　掘　　削　掘削工法は機械掘削とするが、基礎に接する部分は基礎地盤を傷めないよう、人力で入念に仕上げなければならない。
※　埋　　戻　埋戻は機械投入（横出し厚　0.3m以下）とし、人力及びコンパクター等により転圧を行い、コンクリート製品等を傷めないよう入念に仕上げなければならない。
※　盛　　土　盛土は機械投入（横出し厚　0.3m以下）とし、人力及びコンパクター等により転圧を行い、入念に仕上げなければならない。
※　法面仕上　法面仕上げ（切土面・盛土面）は、機械及び人力で入念に仕上げなければならない。
※　種子吹付　1．種子吹付にあたっては、人力により法面整形を行った後吹付を行うこと。
2．種子吹付工は、発芽・植生の確認をもって完了とする。

排水路工（鉄筋コンクリートU字溝）



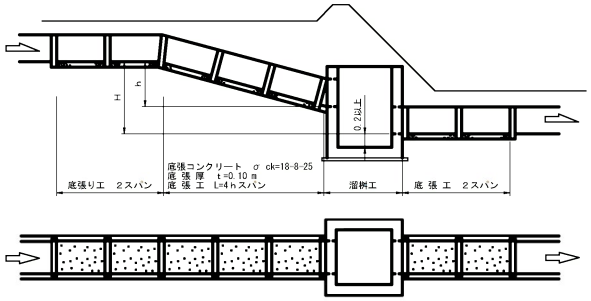
※　A は、掘削幅

使用区分	呼び径 / 規格	a	b	C	H	E	A
	U-180	0.25	0.25	0.19	0.220	0.35	0.55
	U-240	0.33	0.32	0.24	0.290	0.42	0.62
	U-300	0.40	0.38	0.30	0.360	0.48	0.68
	U-360	0.46	0.44	0.36	0.425	0.59	0.79
	U-450	0.56	0.54	0.43	0.520	0.69	0.89
	U-600	0.74	0.70	0.60	0.680	0.86	1.06

※　溝縁（T）は、0.3mとする。
※　法勾配の変更及び小段の位置・幅等については、監督員と打合せること。
※　H＞1.0mについては、種子吹付を溝畔天端まで行なうものとする。

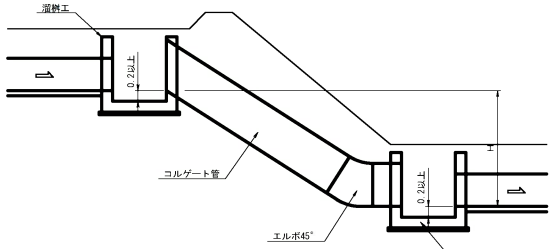
排水路溜桝型落差工図

(2.0<H≦3.0mの場合)



排水路溜桝（暗渠併用型）落差工図

（H>3.0mの場合）



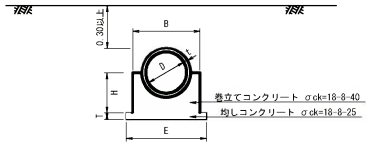
※　上流側にエルボを設置する場合は、監督員と打合せのこと。

工事名	令和3年度　稲童地区 農地中間管理機構関連農地整備事業
図面名	排水路工標準構造図
作成年月日	令和　　年　　月　　日
縮尺	－
図面番号	
会社名	
事業(施)所名	

県営土地改良(区画整理)事業　　稲童地区　暗渠工・湧水処理工標準構造図

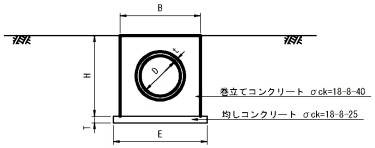
暗渠排水工

横断暗渠埋設工(180° 巻)
B型ヒューム管（外圧１種）



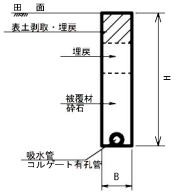
使用区分	規格	D	t	H	B	T	E
	B型ヒューム管	300 mm	30 mm	0.30 m	0.50 m	0.05 m	0.60 m
	〃	350	32	0.30	0.55	〃	0.65
	〃	400	35	0.35	0.60	〃	0.70
	〃	450	38	0.35	0.65	〃	0.75
	〃	500	42	0.45	0.75	〃	0.85
	〃	600	50	0.50	0.90	〃	1.00
	〃	700	58	0.60	1.00	〃	1.10
	〃	800	66	0.65	1.20	〃	1.30
	〃	900	75	0.75	1.30	〃	1.45
	〃	1000	82	0.85	1.45	〃	1.55

横断暗渠埋設工（360° 巻）
B型ヒューム管（外圧１種）

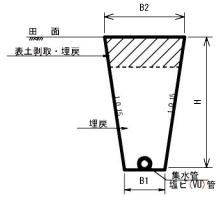


使用区分	規格	D	t	H	B	T	E
	B型ヒューム管	300 mm	30 mm	0.60 m	0.60 m	0.05 m	0.70 m
	〃	350	32	0.60	0.60	〃	0.70
	〃	400	35	0.70	0.70	〃	0.80
	〃	450	38	0.70	0.70	〃	0.80
	〃	500	42	0.90	0.90	〃	1.00
	〃	600	50	1.00	1.00	〃	1.10
	〃	700	58	1.20	1.20	〃	1.30
	〃	800	66	1.30	1.30	〃	1.40
	〃	900	75	1.50	1.50	〃	1.60
	〃	1000	82	1.60	1.60	〃	1.70

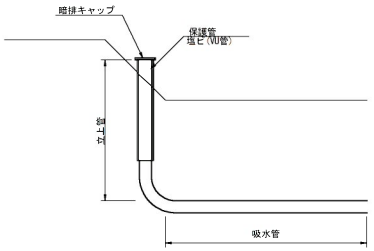
吸水渠断面図



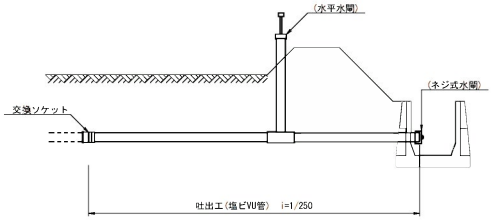
集水渠断面図



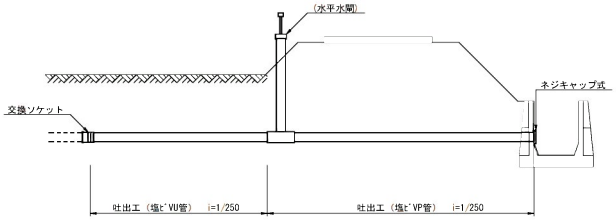
立上管断面図



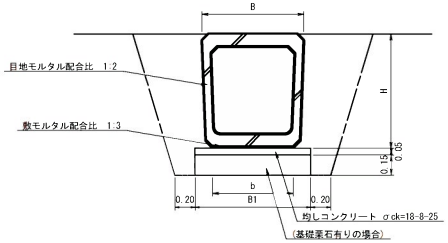
吐出部断面図（溝畔部）



吐出部断面図（道路部）



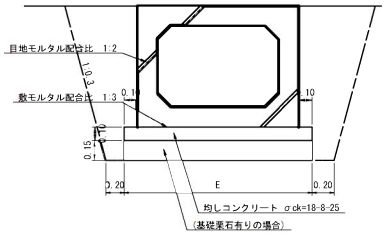
横断暗渠埋設工



※　Wは掘削幅

使用区分	規格＼項目	寸法 mm H	B1	B	b	W
	240型	370	420	330	240	730
	300型	435	480	400	300	800
	360型	515	590	460	360	860
	450型	645	690	560	430	960
	600型	840	860	760	600	1160

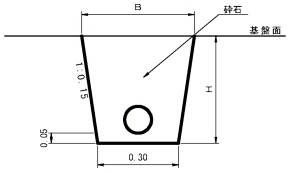
ボックスカルバート布設



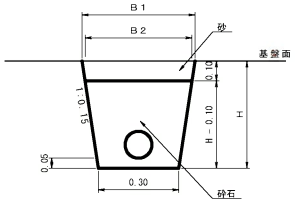
規格	E	規格	E
600×600	1.06	1200×1000	1.66
700×700	1.16	1500×1200	1.98
800×800	1.26	1800×1200	2.30
900×900	1.36	2000×1500	2.52
1000×1000	1.46	2500×1500	3.10

湧水処理工

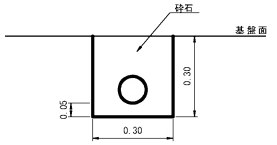
吸水管断面図（砂なし）



吸水管断面図（砂あり）



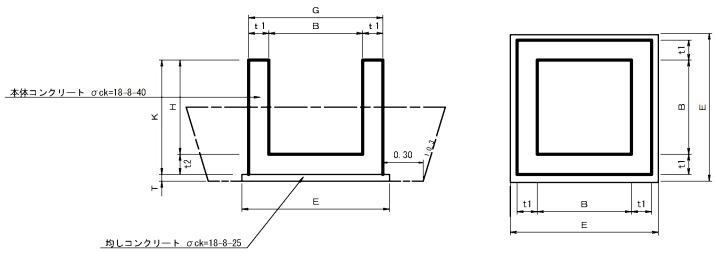
ドレーンタイプ



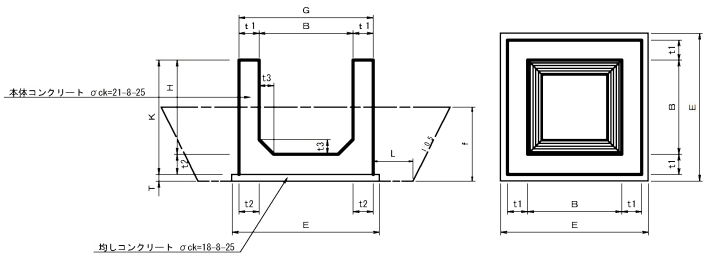
工事名	令和3年度　稲童地区 農地中間管理機構関連農地整備事業
図面名	暗渠・湧水処理工標準構造図
作成年月日	令和　　年　　月　　日
縮尺	－
図面番号	
会社名	
事業(務)所名	

県営土地改良(区画整理)事業　稲童地区　溜桝工標準構造図

溜桝工（Ａ～Ｄ型）（無筋構造）



溜桝工（Ｄ～Ｍ型）（鉄筋構造）



※溜桝F型以上の床掘余裕幅Lはｆ≦1.0mなら0.3m、ｆ>1.0mなら0.5m
※溜桝D-5型についてはN=1：0.3

使用区分	規格	B	H	t1	t2	t3	T	E
		m	m	m	m		m	m
	Ａ－1	0.50	0.50	0.15	0.15		0.05	0.90
	－2	〃	0.70	〃	〃		〃	〃
	－3	〃	1.00	〃	〃		〃	〃
	－4	〃	1.20	〃	〃		〃	〃
	Ｂ－1	0.60	0.60	0.15	0.15		0.05	1.00
	－2	〃	0.80	〃	〃		〃	〃
	－3	〃	1.00	〃	〃		〃	〃
	－4	〃	1.20	〃	〃		〃	〃
	－5	〃	1.40	〃	〃		〃	〃
	Ｃ－1	0.80	0.80	0.15	0.15		0.05	1.20
	－2	〃	1.00	〃	〃		〃	〃
	－3	〃	1.20	0.20	0.20		〃	1.30
	－4	〃	1.40	〃	〃		〃	〃
	－5	〃	1.60	〃	〃		〃	〃
	Ｄ－1	1.00	1.00	0.20	0.20		0.05	1.50
	－2	〃	1.20	〃	〃		〃	〃
	－3	〃	1.40	〃	〃		〃	〃
	－4	〃	1.60	〃	〃		〃	〃
	－7	〃	0.60	〃	〃		〃	〃

使用区分	規格	B	H	t1	t2	t3	T	E
		m	m	m	m	m	m	m
	Ｄ－5	1.00	2.00	0.20	0.20	0.15	0.05	1.50
	Ｄ－6	1.00	2.40	0.20	0.25	〃	0.05	1.60
	Ｆ－11	1.20	0.90	0.20	0.20	0.15	0.10	1.80
	－1	〃	1.20	〃	〃	〃	〃	〃
	－2	〃	1.50	〃	〃	〃	〃	〃
	－3	〃	1.80	〃	〃	〃	〃	〃
	－4	〃	2.00	〃	〃	〃	〃	〃
	－5	〃	2.20	〃	〃	〃	〃	〃
	－6	〃	2.50	〃	0.25	0.20	〃	1.90
	－7	〃	2.80	〃	0.30	〃	〃	2.00
	－8	〃	3.00	〃	〃	〃	〃	〃
	－9	〃	3.20	〃	〃	〃	〃	〃
	－10	〃	3.50	〃	0.35	〃	〃	2.10

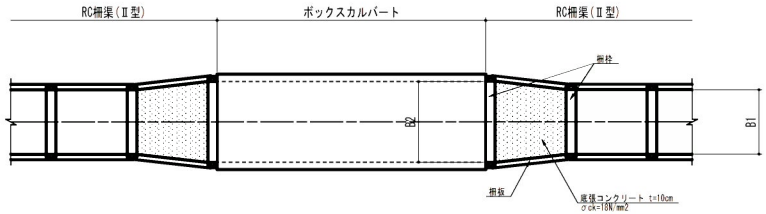
使用区分	規格	B	H	t1	t2	t3	T	E
		m	m	m	m	m	m	m
	Ｇ－10	1.50	0.90	0.20	0.20	0.15	0.10	2.10
	－11	〃	1.20	〃	〃	〃	〃	〃
	－1	〃	1.50	〃	〃	〃	〃	〃
	－2	〃	1.80	〃	〃	〃	〃	〃
	－3	〃	2.00	〃	〃	〃	〃	〃
	－4	〃	2.20	〃	〃	〃	〃	〃
	－5	〃	2.50	〃	0.25	0.20	〃	2.20
	－6	〃	2.80	〃	0.30	〃	〃	2.30
	－7	〃	3.00	〃	〃	〃	〃	〃
	－8	〃	3.20	〃	〃	〃	〃	〃
	－9	〃	3.50	〃	0.35	〃	〃	2.40
	Ｈ－9	1.80	0.90	0.20	0.20	0.15	0.10	2.40
	－10	〃	1.20	〃	〃	〃	〃	〃
	－11	〃	1.50	〃	〃	〃	〃	〃
	－1	〃	1.80	〃	〃	〃	〃	〃
	－2	〃	2.00	〃	〃	〃	〃	〃
	－3	〃	2.20	〃	〃	〃	〃	〃
	－4	〃	2.50	〃	0.25	0.20	〃	2.50
	－5	〃	2.80	〃	0.30	〃	〃	2.60
	－6	〃	3.00	〃	〃	〃	〃	〃
	－7	〃	3.20	〃	〃	〃	〃	〃
	－8	〃	3.50	〃	0.35	〃	〃	2.70

※　鉄筋構造の溜桝については、別途配筋図を使用する。
※　基礎栗石使用については、監督員と打合せる事。
※　箱抜・切欠等については、現場状況に合わせ的確に施工の事。
※　使用材料については、監督員の承認を得る事。
※　規格を変更する場合は、監督員の承認を得る事。

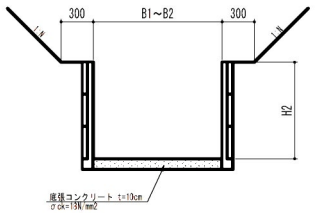
工事名	令和3年度　稲童地区 農地中間管理機構関連農地整備事業
図面名	溜桝工標準構造図
作成年月日	令和　　年　　月　　日
縮尺	－
図面番号	
会社名	
事業(施)所名	

県営土地改良(区画整理)事業　稲童地区　ボックス取付部標準構造図

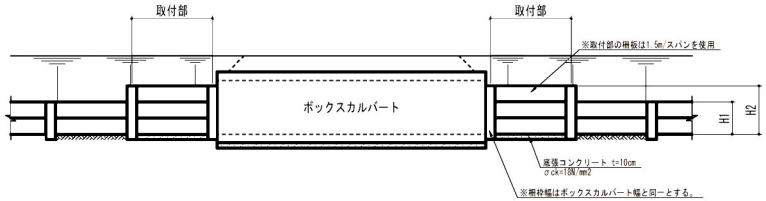
平　面　図



取付部断面図



側　面　図



※取付部の角度等に支障が出る場合は監督員と協議のうえ現地合わせとする。

工事名	令和3年度　稲童地区 農地中間管理機構関連農地整備事業		
図面名	ボックス取付部標準構造図		
作成年月日	令和　　年　　月　　日		
縮尺	－	図面番号	
会社名			
事業(務)所名			